令和元年度

事 業 報 告 書

〔平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日〕

Ⅰ．総務関係

１．会員数の異動

令和元年度の会員の異動は次のとおりであった。（令和２年３月末時点）

	平成30年度	入　会	退　会	令和元年度
正 会 員	389	4	11	382
準 会 員	54	1	3	52
合　　計	443	5	14	434

令和元年度の支部別の会員数は次のとおり。

	東日本支部	中日本支部	西日本支部	合　　計
正 会 員	217	87	78	382
準 会 員	35	7	10	52
合　　計	252	94	88	434

◎支部別会員の異動

支部別	会員区分	30年度末	入　会	退　会	令和元年度
東日本	正会員	220	3	6	217
	準会員	39	0	※4	35
中日本	正会員	89	1	3	87
	準会員	7	0	0	7
西日本	正会員	80	0	2	78
	準会員	8	※2	0	10
合　　計		443	6	15	434

※支部間異動１社を含む

◎入会会社

支部	会　社　名	主 要 製 品 名
東	（正）マクセル㈱	レンズユニット、耐熱コイン電池、ヘッドアップディスプレイの製造
東	（正）三菱重工ｻｰﾏﾙｼｽﾃﾑｽﾞ㈱	HVAC モジュール、車両空調用コントローラ、電動式スクロール圧縮機等
東	（正）ミヤマ電器㈱	プッシュスイッチ、パノラマスイッチ、鍵スイッチ、アミューズ各種スイッチ
中	（正）ヤマハ㈱	オーディオアンプ・スピーカ、車両緊急通報システム
西	（準）アルツァーナジャパン㈱	チャイルドシート輸入販売

◎退会会社

支部	会　社　名	主 要 製 品 名
東	（正）アルパイン㈱	車載音響機器、車載情報通信機器
東	（正）㈱APJ	ガスケット、ヒート＆ノイズインシュレーター、メッシュ製品
東	（正）GKN ドライブラインジャパン㈱	コンベンショナルディファレンシャル、ロックアップデフ、電動モーターAWD 減速機ユニット
東	（正）東海マテリアル㈱	ブレーキライニング、ディスクブレーキパッド
東	（正）日本モレックス（同）	各種コネクター
東	（正）日本ワイパブレード㈱	ワイパブレード及びワイパアーム
東	（準）ｷｰ･ｾｲﾌﾃｨ・ｼｽﾃﾑｽﾞ･ｼﾞｬﾊﾟﾝ㈱	自動車用及び特殊車両用ｴｱﾊﾞｯｸ、ｼｰﾄﾍﾞﾙﾄ
東	（準）ピレリジャパン㈱	自動車、二輪車タイヤの輸入販売
東	（準）コグネックス㈱	外観検査機器表面検査装置の輸入販売
中	（正）興和精密工業㈱	電動燃料ポンプ、電子制御ｽﾛｯﾄﾙﾎﾞﾃﾞｨ、ABS
中	（正）名豊化成㈱	樹脂部品、各種ファスナー類
中	（正）日本電産モビリティ㈱	コントロールユニット、電動パワーステアリングコントローラ
西	（正）㈱トヨシマ	各種板ばね、巻ばね、線ばね、ボデー部品
西	（正）文化自動車部品工業㈱	各種ブッシュ、キングピン・スプリングピン

◎支部間異動

会社名	変更前	変更後
（準）ローム㈱	東日本支部	西日本支部

◎特別会員（新規）

地 方 公 共 機 関 等
岡山県
（公財）岡山県産業振興財団

学 識 経 験 者
早稲田大学　自動車部品産業研究所　上席客員研究員　髙橋武秀

令和 2 年 3 月末時点

学識経験者	公共機関等
9 名	26 機関

2．総会

通常総会では、平成 30 年度事業報告、収支決算、令和元年度事業計画、収支予算が承認された他、一部理事の辞任に伴う補充選任が行われた。

また、同日開催された臨時理事会では、角堂副会長（プレス工業）、荒島副会長（豊田合成）の辞任に伴い、副会長の選任が行われ、新たに土居理事（NOK）、豊田理事（トヨタ紡織）がそれぞれ副会長に選任された。併せて、主要委員長の委嘱が行われ、豊田副会長が総合技術委員会委員長に委嘱された。なお、土居副会長は、同日行われた東日本支部年次会で支部長に選任された。

また、懇親会では、社団法人化 50 周年記念パーティを執り行った。

通常総会

日時：令和元年 5 月 23 日（木）14：00～15：40

場所：経団連会館　2 階「国際会議場」

議題：① 平成 30 年度事業報告及び収支決算承認の件
② 令和元年度事業計画、収支予算及び会費承認の件
③ 理事の辞任に伴う補充選任の件

異動のあった理事は以下のとおり。（敬称略、役職は当時のもの）

〔東日本支部〕

辞任理事　宇佐美 徹　アルパイン㈱　顧問
臼井 政夫　KYB㈱　相談役
玉村 和己　日本発条㈱　代表取締役会長
大沼 邦彦　日立オートモティブシステムズ㈱　取締役会議長
角堂 博茂　プレス工業㈱　相談役
森川 典子　ボッシュ㈱　相談役

新任理事　米谷 信彦　アルプスアルパイン㈱ 代表取締役 副社長執行役員
中島 康輔　KYB㈱　代表取締役会長
茅本 隆司　日本発条㈱　代表取締役社長
門向 裕三　日立オートモティブシステムズ㈱ 代表取締役ｴｸﾞｾﾞｸﾃｨﾌﾞ ｳﾞｧｲｽﾌﾟﾚｼﾞﾃﾞﾝﾄ
美野 哲司　プレス工業㈱　代表取締役社長
Klaus Meder　ボッシュ㈱　代表取締役社長
鈴木 一和雄　㈱ユニバンス　代表取締役会長

〔中日本支部〕

辞任理事　伊原 保守　アイシン精機㈱　相談役
荒島　正　豊田合成㈱　相談役

新任理事　伊勢 清貴　アイシン精機㈱　代表取締役社長

宮﨑 直樹　豊田合成㈱　代表取締役社長
野村 得之　愛三工業㈱　代表取締役社長

議事終了後、講演会を開催した。
演題：「日本経済のこれから　～産業界に期待すること～」
講師：嶋田 隆 氏　経済産業事務次官

50 周年記念パーティでは正副会長及び顧問らによる鏡開きを行ったほか、50 周年記念誌を配布した。

3．理事会（議題は主要議題のみ記載）

（1）理事会

日時：平成 31 年 4 月 25 日（木）12：00～13：40
場所：八芳園　5 階「シダー」
議題：① 平成 30 年度事業報告の承認について
② 平成 30 年度収支決算の承認について
③ 理事の辞任に伴う補充選任の事前協議について
④ 支部の組織及び運営に関する規程の改定について
⑤ 新規加入会員について

理事会に先立ち、経済産業省の井上宏司製造産業局長より、金型管理に関する取組みへの要請があったほか、中小企業庁の前田泰宏次長から金型管理に関する協議会を設置する旨説明があった。

（2）臨時理事会

日時：令和元年 5 月 23 日（水）15：20～15：25
場所：経団連会館　5 階「503」
議題：① 副会長の選定について
② 総合技術委員会の委員長委嘱について
③ 顧問・参与の委嘱について
④ 常勤役員の報酬について

選任された正副会長及び主要委員会委員長は以下のとおり。
（敬称略、役職は当時のもの）

〔副会長〕
土居 清志（NOK㈱　代表取締役社長）
豊田 周平（トヨタ紡織㈱　代表取締役会長）

〔総合技術委員会委員長〕
豊田 周平（トヨタ紡織㈱　代表取締役会長）

（注）土居副会長は、通常総会に先立って行われた東日本支部年次会で支部長に選任された。

（3）理事懇談会
日時：令和元年 7 月 19 日（金）16：00～17：00
場所：ウェスティンホテル大阪　2 階「ソノーラ」
議題：① 政策委員会委員の委嘱について
② 主要委員会委員の変更について　他

新たに政策委員に委嘱された方は以下のとおり。

茅本 隆司　理事（日本発条㈱　代表取締役社長）
伊勢 清貴　理事（アイシン精機㈱　代表取締役社長）

（4）理事会
日時：令和元年 10 月 17 日（木）12：00～14：00
場所：八芳園　3 階「チャット」
議題：①令和元年度上半期事業報告について
②令和元年度上半期収支決算について
③新規加入会員について

（5）理事懇談会
日時：令和元年 12 月 6 日（金）16：00～17：05
場所：名古屋東急ホテル　3 階「錦」
議題：主要委員会委員長報告

（6）理事会（書面審議）
日時：令和 2 年 3 月 27 日（金）
上記期日までに理事全員の承認を得たので下記議案は承認された。
議題：①令和 2 年度事業計画書（案）の承認について
②令和元年度決算見込み及び令和 2 年度予算（案）の承認について
③新規加入会員について
④令和 2 年度通常総会招集について

4．正副会長等打合会

（1）　日時：平成 31 年 4 月 25 日（木）11：30～11：50
　　場所：八芳園　5 階「リンデン」
　　議題：理事会議題について確認

（2）　日時：令和元年 7 月 19 日（金）15：30～15：50
　　場所：ウェスティンホテル大阪　7 階「イパネマ」
　　議題：① 政策委員会委員の委嘱
　　② 主要委員会委員の変更について

（3）　日時：令和元年 10 月 17 日（木）11：30～11：55
　　場所：八芳園　5 階「リンデン」
　　議題：理事会議題について確認

（4）　日時：令和元年 12 月 6 日（金）15：30～16：00
　　場所：名古屋東急ホテル　3 階「梅」
　　議題：理事懇談会議題について確認

（5）　日時：令和 2 年 1 月 23 日（木）15：00～15：50
　　場所：経団連会館　5 階「507」
　　議題：①令和元年度各委員会事業評価について
　　②令和元年度決算見込み及び令和 2 年度予算編成方針について
　　③令和 2 年度事業計画重点施策について
　　④定款変更について（会員資格の見直し）

5．政策委員会

（1）　日時：令和 2 年 1 月 23 日（木）16：00～16：50
　　場所：経団連会館　5 階「504」
　　議題：①令和元年度各委員会事業評価について
　　②令和元年度決算見込み及び令和 2 年度予算編成方針について

（2）　日時：令和 2 年 1 月 29 日（木）14：00～14：45
　　場所：浜松町東京會館　世界貿易ｾﾝﾀｰﾋﾞﾙ 39 階「シルバールーム」
　　議題：①令和 2 年度事業計画（案）について
　　②令和 2 年度予算（案）について
　　③定款変更について（会員資格の見直し）

Ⅱ．部工会の新型コロナウイルス感染症への対応について

令和元年 12 月以降、中国湖北省武漢市を中心に発生した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、短期間で全世界に広がった。日本においても、多くの感染者の発生によって外出・イベントの自粛や中止等、人々の生活や企業の事業活動に多大な影響を及ぼした。

当会では、新型コロナウイルスによる会員企業の事業活動影響への対応として、与党（自民党・公明党）との会合における業界の課題説明と要望、国内外の生産、物流、物資需要等に関する会員企業ニーズの吸上げと要望提出を行った。また、新型コロナウイルス感染症の影響に対する国の支援制度や各国部工会が発信している情報等をまとめて会員企業へ随時展開した。

なお、これらの活動は現在も継続中である。

１．新型コロナウイルス対策検討自動車協議会の立ち上げ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、自動車サプライチェーンへの今後の影響拡大の可能性に備え、対応に万全を期す観点から、自動車メーカー、部品メーカー、政府が連携し、業界大の迅速な情報共有や必要となる対応策を検討する場として、経産省、自工会、部工会で「新型コロナウイルス対策検討自動車協議会」を立ち上げた。

日　時：令和 2 年 2 月 27 日（木）14：15～15：00
場　所：経済産業省　本館　西 1 会議室
出席者：

【経済産業省】
牧原 秀樹　副大臣
松本 洋平　副大臣
髙田 修三　製造産業局長
河野 太志　製造産業局自動車課長

【日本自動車工業会】
永塚 誠一　副会長・専務理事
白柳 正義　調達委員会委員長（トヨタ自動車㈱ 執行役員）
河井 芳浩　調達委員会副委員長（日産自動車㈱ 共同購買本部理事）
西岡　功　調達委員会委員（本田技研工業㈱ 購買本部購買企画部参与）

【日本自動車部品工業会】
井上　敦　総務委員会委員（㈱小糸製作所　常務執行役員）
大下 政司　副会長・専務理事

２．与党への状況説明、要望

（1）自民党「経済成長戦略本部・新型コロナウイルス関連肺炎対策本部合同会議」

日　時：令和２年２月 27 日（木）８：00～９：00
場　所：自民党本部　９階「901 号室」
出席者：部工会　副会長・専務理事　大下 政司
議　題：新型コロナウイルス感染症による業界への影響

（2）公明党「新型コロナウイルス感染症対策本部」
日　時：令和２年３月２日（月）13：30～14：30
場　所：衆議院第２議員会館　政調会議室
出席者：部工会　副会長・専務理事　大下 政司
議　題：新型コロナウイルス感染症に関する要望

３．個別課題への対応
中国及び日本国内での生産や物流、公衆衛生の物資（マスク、消毒液等）に関し、中国現地及び日本国内の製造拠点等の要望を聞き取り、都度経産省自動車課へ提出した。特に中国湖北省武漢市での生産再開については、経産省から中国の JETRO 武漢に相談窓口となる担当官を指名し、現地会員企業から直接問い合わることを可能とした。

①中国での立ち入り禁止区域での生産活動に関する課題（湖北省、浙江省）
アンケート期間：2020 年２月 28 日～３月３日
対象会員数：73 社
要望提出日：３月４日
②中国から日本への物流上の困りごと及び残してもらいたい航空路線
アンケート期間：2020 年３月６日～10 日
対象会員数：94 社
要望提出日：３月 11 日
③中長期的な観点による国内公衆衛生物資の調達について
アンケート期間：2020 年３月 18 日
対象会員数：総務委員会運営幹事会
要望提出日：回答を受領都度、提出

４．政府の支援制度等の情報展開
政府が発表した新型コロナウイルス感染症に対する資金繰り、雇用、相談窓口等に関する支援情報、および各国の部工会が発信している情報等を適宜ＨＰに掲載し、会員企業へ展開した。

Ⅲ．国内業務関係

1．関係団体との意見交換

自動車総連との懇談会において、両会の活動状況を共有し、自動車・部品産業が直面する課題等について意見交換を行った。特に、7 月会合では「同一労働同一賃金に関する取組み（60 歳以降の定年延長に対する考え方）」、1 月会合では、「技術革新に伴う自動車産業構造転換における働き方」について、双方より活発な発言があり、有意義な会合となった。

（1）自動車総連との懇談会の開催

日　時：令和元年 7 月 25 日（木）15：00～16：50
場　所：八芳園　「エタニティー」
出席者：自動車総連側　高倉会長　以下 28 名
　　部工会側　　岡野会長　以下 13 名
議　題：意見交換
　　ⅰ 付加価値の「WIN-WIN 最適循環運動」の取り組み
　　ⅱ 通商問題
　　ⅲ 人材の確保・育成に向けた取り組み
　　ⅳ 同一労働同一賃金に関する取り組み

日　時：令和 2 年 1 月 29 日（水）15：00～16：45
場　所：浜松町東京會舘　「チェリールーム」
出席者：自動車総連側　高倉会長　以下 29 名
　　部工会側　　岡野会長　以下 12 名
議　題：意見交換
　　ⅰ 付加価値の「WIN-WIN 最適循環運動」
　　～金型適正取引への対応
　　ⅱ 技術革新に伴う自動車産業構造転換 CASE への対応
　　～電動化への取り組み～
　　ⅲ 60 歳以上の働き方
　　ⅳ 災害時の対応

2．総務委員会の運営

（1）総務委員会

総務委員会に関連する各種課題に対して、傘下の「経営調査部会」、「人財・労務部会」、「税制部会」、「広報部会」、「調達・生産部会」、「人事労務研究会」を中心に自動車部品工業の諸問題の実態把握やその対応について検討等を行なった。

各部会・研究会の主な活動は次のとおり。

①経営調査部会

・自動車部品工業の実態を把握するための経営動向の取りまとめを行い、対外的な発表や部工会会長の記者会見等に反映した。

・経営動向の取りまとめが自動車部品産業の実態・変化を捉え、対外的な理解促進や部会メンバーにもより参考となるように、内容を見直した。

・コンプライアンスWGでは、会員企業のコンプライアンスの強化を支援する目的で「企業の機密情報(個人情報含む)の実践的管理」を取りまとめた。会員企業と共有するための説明会は、次年度に延期した。

②人財・労務部会

・働き方改革への取組みとして、会員企業の同一労働同一賃金への取組みを支援するために、厚生労働省や弁護士等の講演会を開催するとととともに、部会メンバーにより各社の取組み状況や課題に関する情報を共有した。

・「特定技能外国人制度」の分野追加ニーズ調査を実施し、その結果をベースに当会の考え方を取りまとめ、関係省庁へ説明した。

③税制部会

・令和 2 年度の税制改正要望を取りまとめた。重点要望項目として、自動車部品産業が直面する課題への取組みを支援する観点から、「自動車関係諸税の簡素化、負担軽減」「研究開発税制の拡充」「中小企業税制の延長、拡充」を重点要望項目として取り上げ、政府等の会合で要望した。

④広報部会

・自動車部品産業の理解促進・認知度向上の活動として、工業系専門高校教員による部品メーカーの見学会、全日本学生フォーミュラ大会への出展を行った。また、会員企業への情報提供活動の充実のために、機関誌 JAPIA NEWS の内容を見直した。

⑤調達・生産部会

・自主行動計画の取組みの実態を把握する為、フォローアップ調査を実施し、調査結果、今後の対応をまとめて、政府主催の会議で報告を行った。

・政府の型協議会に関する論点（金型代金、費用に関する支払い方法、型管理の在り方等）について、部工会の考え方を整理・確認し、その考え方に基づいて協議会等において型廃棄に向けた要望や意見を説明した。12 月に発表した型協議会報告書を受けた当会および会員の取り組み案を取りまとめ、自工会との実務者会合にむけた準備を行った（関係者とメールベースで実施し、会合は次年度へ延期)。

⑥人事労務研究会

・自動車・部品産業が直面する労政問題、安全衛生問題、国際人事問題等の情報交換及び改善に向けた取組み紹介や講演会を日本自動車工業会（自工会)、日本

自動車車体工業会（車工会）と連携して行った。

①総務委員会の開催

日　時：令和元年 6 月 7 日（火）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：大嶽委員長　以下 18 名
議　題：ⅰ 2018 年度の自動車部品工業の経営動向
ⅱ 政府の「型管理の適正化」に向けた今後の取組と部工会の対応
ⅲ 関連部会の活動報告

日　時：令和元年 9 月 10 日（火）14：00～16：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：大嶽委員長　以下 20 名
議　題：ⅰ 令和 2 年度税制改正要望（案）
ⅱ 2019 年度第 1 四半期の自動車部品工業の経営動向
ⅲ 関連部会、WG の活動報告

日　時：令和元年 12 月 4 日（水）13：30～15：30
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：大嶽委員長　以下 19 名
議　題：ⅰ 2019 年度第 2 四半期の自動車部品工業の経営動向
ⅱ 自主行動計画フォローアップ調査結果
ⅲ 型取引の適正化推進協議会への対応
ⅳ 関連部会の活動報告

日　時：令和 2 年 3 月 6 日（金）15：00～17：00
（4 月 17 日に延期し、最終的に中止）

②工場見学会の開催

日　時：令和元年 9 月 20 日（金）14：00～16：00
場　所：盛岡セイコー工業㈱及び㈱岩鋳 飯岡工場
出席者：大嶽委員長　以下 15 名

③運営幹事会の開催

日　時：令和元年 5 月 24 日（金）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」

出席者：井上代表幹事　以下８名
議　題：6 月 7 日の総務務委員会の運営

日　時：令和元年 8 月 30 日（金）13：00～14：30
場　所：黒崎ひびしんホール　会議室 B
出席者：井上代表幹事　以下 5 名
議　題：9 月 10 日総務委員会の運営

日　時：令和元年 11 月 20 日（水）15：30～17：30
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：井上代表幹事　以下 9 名
議　題：12 月 4 日総務委員会の運営

日　時：令和元年 12 月 17 日（火）16：00～17：30
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：井上代表幹事　以下８名
議　題：ⅰ総務委員会及び部会の活動評価、来年度の活動計画等
　　ⅱＤＸ（ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾄﾗﾝｽﾌｫｰﾒｰｼｮﾝ）に関する情報交換

日　時：令和 2 年 2 月 21 日（金）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
　　（4 月 6 日に延期し、最終的に中止）

（2）経営調査部会
①　自動車部品工業の経営動向のとりまとめ
・自動車部品工業のタイムリーな経営実態を把握するために、上場企業を対象として、5 月に2018 年度通期、8 月に2019 年度第 1 四半期、11 月に 2019 年度第 2 四半期、2 月に 2019 年度第 3 四半期の経営動向をとりまとめた。
・2018 年度通期経営動向は、6 月 14 日に岡野会長による記者会見、プレスリリースで発表、2019 年度第 2 四半期の経営動向は、12 月 10 日にプレスリリースした。
・2019 年度第 3 四半期の経営動向では、CASE 時代の自動車部品産業の変化がとらえられるように、財務指標の追加、コンテンツの見直し、参考データの充実等を行った。
②　部工会会長記者会見等の対外発信に向けた Q&A の充実
・会長会見での想定テーマ等について、部会メンバーによる意見交換を行い、その結果を Q&A に反映し、内容の充実を図る取組みを開始した。

③　コンプライアンスＷＧ活動
・会員企業の法務、コンプライアンス活動の充実を支援するコンプライアンスWGでは、「企業の機密情報(個人情報含む)の実践的管理」をテーマに活動した。
・メンバー各社の取組み事例（機密情報管理や個人情報管理の取組み体制、規定・文書管理の方法等）について発表、意見交換を行い、事例集を取りまとめた。令和２年３月に会員企業と成果共有のための発表会を東京、名古屋、大阪で予定していたが、次年度に延期した。
④　会員企業への情報提供
・最新の自動車・部品業界の動向を会員企業と共有するために、自動車アナリストによる講演会を７月、12 月に東京、名古屋で開催し、多くの方の参加をいただき、高い評価を得た。

①部会の開催

日　時：令和元年５月 22 日（水）15：30～17：00
場　所：自動車部品会館　「701 会議室」
出席者：三矢部会長　以下 13 名
議　題：ⅰ　2018 年度通期の自動車部品工業の経営動向のとりまとめ
ⅱ　記者会見の対応
ⅲ　コンプライアンス WG の活動計画 他

日　時：令和元年８月 28 日（水）15：30～17：00
場　所：自動車部品会館　「701 会議室」
出席者：三矢部会長　以下 11 名
議　題：ⅰ　2019 年度第１四半期の自動車部品工業の経営動向の取りまとめ
ⅱ　コンプライアンス WG の活動報告　他
講　演：自動車・部品産業の動向について
講師　大和証券㈱　エクイティ調査部次長　坂牧 史郎 氏

日　時：令和元年 11 月 21 日（木）15：30～17：00
場　所：AP 品川　「N+O 会議室」
出席者：三矢部会長　以下 11 名
議　題：ⅰ　2019 年度第２四半期の自動車部品工業の経営動向のとりまとめ
ⅱ　会長記者会見等の対外発信に向けた Q&A のとりまとめ
ⅲ　経営動向調査内容の見直し 他

日　時：令和 2 年 2 月 28 日（金）（書面決議）
議　題：ⅰ　2019 年度第 3 四半期の自動車部品工業の経営動向のとりまとめ
　　ⅱ　コンプライアンス WG 研究テーマ「情報管理」発表会
　　ⅲ　2020 年度経営調査部会の活動計画

②コンプライアンス WG の開催
日　時：令和元年 9 月 3 日（火）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：森近座長　以下 12 名
議　題：「機密情報(個人情報含む)の実践的管理」の取り組み発表 他

日　時：令和元年 10 月 25 日（金）15：00～17：00
場　所：東京ビッグサイト　「802 会議室」
出席者：森近座長　以下 10 名
議　題：「機密情報(個人情報含む)の実践的管理」の取り組み発表 他

日　時：令和元年 11 月 26 日（火）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「701 会議室」
出席者：森近座長　以下 10 名
議　題：「機密情報（個人情報含む）の実践的管理」の取り組み発表会 他

日　時：令和 2 年 2 月 13 日（木）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「401 会議室」
出席者：森近座長　以下 12 名
議　題：ⅰ「機密情報（個人情報含む）の実践的管理」に関する発表会
　　ⅱ　2020 年度コンプライアンス WG 活動テーマ 他

③会員企業への情報提供（講演会の開催）
日　時：令和元年 7 月 11 日（木）14：30～16：30
場　所：名古屋栄ビルディング　「特別会議室」
テーマ：「自動車業界～業績動向と今後の展望 2019 年夏」
講　師：シティグループ証券㈱株式調査部 ディレクター 吉田 有史 氏
参加人数：39 名

日　時：令和元年 7 月 12 日（金）14：30～16：30
場　所：TKP 品川　「カンファレンスルーム 5C」

参加人数：49 名
　＊テーマ・講師は上記と同じ

日　時：令和元年 12 月 11 日（水）14：00～16：20
場　所：名古屋栄ビルディング　「特別会議室」
テーマ：「自動車市場の展望と自動車メーカーの戦略」
講　師：大和証券㈱ エクイティ調査部 部長 箱守 英治 氏
参加人数：44 名

日　時：令和元年 12 月 12 日（木）14：00～16：20
場　所：AP 品川　「I ルーム」
参加人数：48 名
　＊テーマ・講師は上記と同じ

（3）人財・労務部会
①　同一労働同一賃金への取組み支援
・平成 31 年 4 月から順次施行される働き方改革法に対する会員企業への支援として、同一労働同一賃金制度への取り組みを中心に活動を行った。2020 年 4 月から大企業に適用されるもので（中小企業は令和 3 年 4 月以降）、企業の参考となる事例が少ない。
・部会では、厚生労働省から同一労働同一賃金ガイドラインやマニュアルの説明、弁護士等専門家からは法的な捉え方や関連する判例の説明等にについて講演会を開催し、各社の取組みの参考にしていただいた。
・部会メンバーによる取組み状況の共有や弁護士を交えての意見交換を開催し、各社の課題解決に役立てていただいた。
②　「特定技能外国人制度」への対応
・平成 31 年 4 月に導入された「特定技能外国人制度」について、事務局が中心となって政府による制度説明会に参加、情報を整理して部会等で共有、関係団体とも情報交換を行った。
・令和 3 年 4 月からの制度見直しに向けて、会員企業を対象に「特定技能外国人制度」の分野追加ニーズ調査を実施し、その結果をベースに当会の考え方を取りまとめ、関係省庁へ説明した。
③　日・中社会保障協定発効への対応
・令和元年 9 月 1 日から日・中社会保障協定が発効されることから、厚生労働省及び日本年金機構より講師を招いて、日・中社会保障協定の解説と実務を中心とした説明会及び個別相談会を開催し、会員の実務担当者における手続

きの理解向上と円滑な制度利用を高める活動を実施した。
・説明会は、（一財）日中経済協会、（一社）日本経済団体連合会、（一社）日本在外企業協会、日本商工会議所、（一社）日本貿易会等との共催とし、当会会員以外にも周知した。
④　情報提供（講演会の開催）
・会員企業への情報提供活動として、経団連より「2020 年春季労使交渉に臨む経営側の考え方」をテーマに講演会を開催した。

①部会の開催

日　時：令和元年 5 月 21 日（火）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：磯部部会長　以下 9 名
議　題：ⅰ　同一労働同一賃金に関する会員支援活動
　　ⅱ　部会メンバーによる取組事例の共有と意見交換 他

日　時：令和元年 7 月 9 日（火）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：磯部部会長　以下 9 名
議　題：ⅰ　部会メンバー間での情報共有・意見交換
　　ⅱ　特定技能外国人材制度の近況同一労働同一賃金に関する会員支援活動 他

日　時：令和元年 11 月 28 日（木）15：00～17：00
場　所：日本特殊陶業㈱東京支社　「会議室」
出席者：磯部部会長　以下 8 名
議　題：ⅰ　自動車部品産業の人事労務課題に関するディスカッション
　　コーディネーター：デロイト トーマツ コンサルティング合同会社
　　執行役員 ヒューマンキャピタル 岡本 努 氏 他
　　ⅱ　新たな外国人受入制度「特定技能」の情報共有　他

②-1 同一労働同一賃金セミナー（手当・福利厚生編）の開催

日　時：平成 31 年 4 月 17 日（水）14：00～16:45
場　所：自動車部品会館 「会議室」
講演①：同一労働同一賃金（諸手当、福利厚生）の法的視点での捉え方
講　師：安西法律事務所 所長 弁護士 安西 愈(まさる) 氏
講演②：同一労働同一賃金ガイドラインと不合理な待遇差解消のための

点検・検討マニュアル
講　師：厚生労働省雇用環境・均等局 有期・短時間労働課長 松永 久 氏
参加人数：42 名

日　時：平成 31 年 4 月 19 日（金）14：00～16：45
場　所：名古屋栄ビルディング　「特別会議室」
講演①：同一労働同一賃金（諸手当、福利厚生）の法的視点での捉え方
講　師：安西法律事務所　弁護士　荻谷 聡史 先生
講演②：同一労働同一賃金ガイドラインと不合理な待遇差解消のための
点検・検討マニュアル
講　師：厚生労働省雇用環境・均等局　有期・短時間労働課長 松永 久 氏
参加人数：25 名

②-2 同一労働同一賃金セミナー（基本給編）の開催
日　時：令和元年 8 月 2 日（金）14：00～16:45
場　所：TKP 品川カンファレンスセンター　「5A」
講演①：「基本給の点検を行うための職務分析・評価手法の紹介」
講　師：PwC コンサルティング合同会社 アソシエイト 中西 亮太 氏
講演②：「同一労働同一賃金（基本給・賞与・昇給・退職金）の法的視点での捉え方」
講　師：安西法律事務所　所長　弁護士　安西 愈(まさる)　氏
参加人数：40 名

③「特定技能外国人制度」への対応
・愛知県経営者協会（6/27）、自工会（8/27）との意見交換を実施した。
・「特定技能外国人制度」の分野追加ニーズ調査を実施し、当会の考え方の取りまとめた。
調査時期：令和元年 12 月 2 日～12 月 6 日
回答企業：93 社

④日・中社会保障協定の発効に関する講演会、個別相談会の開催
＜東京会場＞
日　程：令和元年 7 月 23 日（火）15：00～16：30
場　所：くるまプラザ　「第 1～3 会議室」
参加者：会員企業等実務担当者　29 名
内　容：ⅰ「日・中社会保障協定」の実務説明及びその他の主な国との社会保障協定の進捗状況説明
ⅱ 質疑応答、その後個別相談

講　師：厚生労働省 年金局 国際年金課 課長補佐 西窪 学 氏 他
日本年金機構 事業企画部国際事業グループ 国際事業企画部部長
岡部 史哉 氏 他

＜名古屋会場＞
日　程：第１部　令和元年７月 24 日（水）13：30～15：00
第２部　令和元年７月 24 日（水）15：30～17：00
場　所：名古屋栄ビル　「特別会議室」
参加者：第１部　24 名、第２部　35 名
内　容・講　師：東京会場と同じ

⑤2020 年春季労使交への取り組みに関する講演会の開催
日　時：令和２年２月 12 日（水）13：30～15：30
場　所：自動車部品会館　「会議室」
講　演：「2020 年春季労使交渉に臨む経営側の考え方について」
講　師：（一社）日本経済団体連合会 労働法制本部統括主幹 明石 祐二 氏
参加人数：10 名

（4）税制部会
①　令和２年度税制改正要望のとりまとめ
・令和２年度税制改正要望の取りまとめを行った。自動車部品産業が直面する課題への取組みを支援する観点から重点要望項目の検討を行った。
・令和２年度要望では、「自動車関係諸税の簡素化、負担軽減」「研究開発税制の拡充」「中小企業税制の延長、拡充」を重点項目として取り上げた。
・また、自動車業界全体の連携活動として、自動車関係 21 団体で構成される「自動車税制改革フォーラム」が進める「自動車関係諸税の簡素化・負担軽減」の実現のための要望活動に参加した。
②　要望活動
・令和元年 10 月以降、大下専務理事が政府与党の会合において業界動向を説明、税制の要望を行った。また、業界連携活動に参加して、要望実現の向けた取組みを行った。

①部会の開催
日　時：令和元年９月２日（月）15：30～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：井上部会長　以下 10 名
議　題：ｉ　令和２年度の経産省税制改正要望の説明
経済産業省企業行動課 廣田 課長補佐

ⅱ　令和 2 年度の税制改正要望(案)の取りまとめ

②要望活動

・10 月 24 日 自動車税制改革フォーラム・街頭活動（ユーザーへの理解活動）への参加。
・11 月　6 日 自民党「予算・税制等に関する政策懇談会」での業界動向説明と要望。
・11 月 29 日 自民党「自動車議員連盟 政策懇談会」での要望。

（5）広報部会

①　自動車部品産業の理解促進・認知度向上の活動

①-1 工業系専門高校の教員による部品メーカー見学

・東日本支部や教育関係団体と連携して、高校教員による部品メーカーの工場見学や従業員との意見交換を行った。
・今年は㈱ヨロズ栃木へ訪問し、工場見学の他、従業員教育や若手従業員の仕事のやり方等について、部品メーカーの担当者と意見交換を行い、部品業界への理解を深め、学生の就職指導に役立てていただいた。

①-2 全日本学生フォーミュラ大会への出展

・全日本学生フォーミュラ大会では、部工会 PR テントにおいて新たに“部品メーカー紹介受付窓口”を設置し、学生から車両製作の困り事等の相談を受付け、それを部品メーカーへ紹介する等、学生と会員との繋がりを生み出していく活動を実施した。
・完走した車両の中で車両コストやプレゼン、軽量化で高成績を収めた大学に対して「部工会会長賞」を設け、今年は日本工業大学へ授与した。当日は岡野会長が部品メーカー各社の PR テントや学生の活動を視察した。

①-3 部品業界紹介パンフレットの作成

・部品業界紹介パンフレットの作成について検討し、電子媒体の活用を含めて、継続して検討することとなった。

②　情報提供・発信活動の充実

・会員企業への有意義な情報提供のために、機関誌 JAPIA NEWS の内容を見直し、「会員企業紹介」コーナーの充実や JAPIA50 周年企画事業として歴代会長のインタビュー記事を掲載した。
・定例記者会見等では、自動車部品工業の経営動向の発表や CASE への対応、通商政策の変化と影響、取引適正化の対応等について当会の考え方や取組み状況等について発信した。

③　第 46 回東京モーターショーのＰＲ活動

・令和元年 10 月 25 日～11 月 4 日まで開催された第 46 回東京モーターショーの集客促進に向けて、東日本支部会員企業等へポスター掲示による

ＰＲをお願いした。また、機関誌「JAPIA NEWS」へ東京モーターショー及び部工会共同出展の記事を掲載する等ＰＲに努めた。
・第 46 回モーターショーは、来場者が 130 万 900 人と前回（平成 29 年）より+69%の大幅増加となった。

①部会の開催

日　時：平成 31 年 4 月 18 日（木）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：森川部会長　以下 8 名
議　題：ⅰ　機関誌 JAPIA NEWS リニューアル
ⅱ　自動車部品理解促進事業
ⅲ　全日本学生フォーミュラ 2019 の出展　他

日　時：令和元年 9 月 25 日（水）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：黒木部会長　以下 10 名
議　題：ⅰ　機関誌 JAPIA NEWS の進捗報告
ⅱ　自動車部品理解促進事業実施結果
ⅲ　全日本学生フォーミュラ 2019 の出展結果
ⅳ　今後の活動　他

日　時：令和元年 12 月 19 日（木）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：黒木部会長　以下 9 名
議　題：ⅰ　機関紙 JAPIA NEWS の進捗報告
ⅱ　自動車部品業界紹介パンフレットの作成
ⅲ　勉強会実施

②部品産業の理解促進・認知度向上活動

②-1 工業系専門高校教員による部品メーカー見学会（東日本支部と合同）の実施

日　程：令和元年 8 月 1 日（木）10：00～14：30
見学先：㈱ヨロズ栃木
参加者：専門高校教員 9 名
内　容：施設見学と企業側、若手社員との意見交換会等を実施

②-2 全日本学生フォーミュラ大会への出展

日　程：令和元年 8 月 29 日（木）～31 日（土）
場　所：エコパ（小笠山総合運動公園・静岡県）
内　容：PR テントに出展（部品メーカー紹介受付窓口の設置）
　　部工会会長賞（賞金、トロフィー）を授与
　　授与校：日本工業大学

③機関紙 JAPIA NEWS 編集会議

日　時：令和元年 6 月 18 日（火）10：00～12：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：鈴木編集長、佐藤副編集長以下 4 名、日刊自動車新聞社 4 名
議　題：ISSUE 3　校正確認（初校）

日　時：令和元年 6 月 25 日（火）10：00～12：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：鈴木編集長、佐藤副編集長以下 4 名、日刊自動車新聞社 4 名
議　題：ISSUE 3　校正確認（再校）

日　時：令和元年 9 月 18 日（水）10：00～12：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：鈴木編集長、佐藤副編集長以下 4 名、日刊自動車新聞社 4 名
議　題：ISSUE 4 校正確認（初校）

日　時：令和元年 9 月 25（水）10：00～12：00
場　所：TKP 品川カンファレンスセンター　カンファレンスルーム 5A
出席者：鈴木編集長、佐藤副編集長以下 4 名、日刊自動車新聞社 4 名
議　題：ISSUE 4 校正確認（再校）

日　時：令和元年 12 月 19 日（木）12：00～14：30
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：鈴木編集長、佐藤副編集長以下 4 名、日刊自動車新聞社 4 名
議　題：ISSUE 1 校正確認（初校）

日　時：令和元年 12 月 25 日（水）10：30～12：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：鈴木編集長、佐藤副編集長以下 4 名、日刊自動車新聞社 4 名

議　題：ISSUE 1 校正確認（再校）

日　時：令和 2 年 3 月 18 日（水）10：30～12：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：鈴木編集長、佐藤副編集長以下 4 名、日刊自動車新聞社 4 名
議　題：ISSUE 2 校正確認（初校）

日　時：令和 2 年 3 月 27 日（木）（関係者とメールベースで実施）
出席者：鈴木編集長、佐藤副編集長以下 5 名、日刊自動車新聞社 6 名
議　題：ISSUE 2 校正確認（再校）

④定例記者会見の開催他
④-1 定例記者会見
日　時：令和元年 6 月 14（金）10：30～11：30
場　所：日本自動車会館　くるまプラザ　「第 4・5 会議室」
出席者：岡野会長、大下専務理事
内　容：「2018 年度通期の自動車部品工業の経営動向」の説明

④-2 新聞社の会長取材対応
日　時：令和元年 7 月 11 日（木）14：00～16：45
場　所：㈱リケン 本社
新聞社：交通毎日新聞社、日刊自動車新聞、日刊工業新聞
出席者：岡野会長、大下専務理事
内　容：自動車部品業界の経営状況と見通し、CASE への対応、
通商政策の変化と影響、取引適正化の対応等

日　時：令和 2 年 1 月 21 日（木）13：30～16：30
場　所：㈱リケン 本社
新聞社：交通毎日新聞社、日刊自動車新聞、日刊工業新聞
出席者：岡野会長、大下専務理事
内　容：自動車部品業界の経営状況と見通し、CASE への対応、
通商政策の変化と影響等

⑤第 46 回東京モーターショーのＰＲ活動
・東日本支部会員企業へポスター掲示によるＰＲを要請
（依頼先）モーターショー出展企業を除く、東日本支部会員企業 198 社

・機関誌「JAPIA NEWS」への記事掲載
（掲載号）「ISSUE 3（7 月発行）」「ISSUE 4（10 月発行）」へ掲載

（6）調達・生産部会
① 政府の型取引の適正化推進協議会（以下「型協議会」とする）への対応
・型協議会での論点（金型代金、費用に関する支払い方法、型管理の在り方等）について、部工会の考え方を整理・確認し、その考え方に基づいて型廃棄に向けた目安の設定等についての意見を提出した。また、型協議会報告書に対する当会および会員の取り組みを検討した。
②「適正取引の推進と生産性・付加価値向上に向けた自主行動計画（以下「自主行動計画」とする）」による取引適正化の推進
・取引適正化の重点三課題（合理的な価格決定、型管理の適正化、下請代金支払の適正化）に関するフォローアップを実施し、その結果と今後の対応をまとめて、12 月 9 日に開催された政府主催の中小企業政策審議会取引問題小委員会で報告した。
・自主行動計画の改訂について、骨子の意見交換を行った。（改訂は、自動車産業適正取引ガイドラインの改訂内容を反映する為、次年度へ繰り越し）
③ 下請法、自動車ガイドライン周知活動
・自工会との共同開催セミナーにより、会員及び取引先等に対して下請法、自動車産業適正取引ガイドラインの周知活動を行い、820 名の参加があった。
・参加者へのアンケート結果では、81％の参加者が満足、下請法や自動車ガイドラインの理解度についても 91％の参加者が理解できたとの回答結果で、セミナーの目的を達成することができた。
④ 旧型補給部品ＷＧの活動
・型管理における課題・問題への対応について、型管理の改善が進んでいない会員の実態把握のための調査を行い、具体的な問題に対するベストプラクティスの提供に向けた好事例を取りまとめた。
・3 月に会員企業向け「旧型補給部品の課題解決に向けた説明会」を東京、名古屋、大阪で予定していたが、次年度に延期した。
⑤電子部品供給問題ＷＧの活動
・半導体・電子部品の安定供給に向けての課題と自工会への要望内容等活動の方向性について検討し、今後は調達・生産部会で対応することで、ＷＧとしての活動は終了した。
⑥ 紛争鉱物規制対応ＷＧの活動
・自工会/部工会紛争鉱物連絡会を定期的に開催し、自動車メーカーが実施する紛争鉱物調査に関する部品メーカーの負荷を低減するために、自動車業界

共通の調査ツールの一部改善を行った。
・JEITA 紛争鉱物説明会において紛争鉱物規制対応ＷＧメンバーが個別相談対応を行い、調査実施方法の周知を図った（6月7日・10日 東京、14日名古屋）。
⑦BCP（事業継続計画）への取組みを支援
・過去の大規模な風水害の影響を鑑み、「水害」をテーマに、BCP レベルアップセミナーを全国 5 箇所で開催した。合計 55 名の参加があり、熱心に演習かつ活発なディスカッションが行われ、好評を得た。

①調達・生産部会の開催

日　時：令和元年 8 月 22 日（木）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：藤井部会長　以下 15 名
議　題：ⅰ　型協議会の主な論点に関する考え方のまとめ
　　ⅱ　部会の今年度の取組み、WG活動他

日　時：令和元年 10 月 11 日（木）10：00～12：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：藤井部会長　以下 12 名
議　題：ⅰ　型協議会の検討状況
　　ⅱ　自主行動計画フォローアップ調査他

日　時：令和元年 11 月 18 日（月）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：藤井部会長　以下 13 名
議　題：ⅰ　型協議会での課題対応の検討
　　ⅱ　自主行動計画フォローアップ調査　他

日　時：令和 2 年 2 月 12 日（水）13：30～15:30
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：藤井部会長　以下 14 名
議　題：ⅰ　部工会 自主行動計画
　　ⅱ　型旧議会報告書への対応
　　ⅲ　旧型補給部品ＷＧ活動

②幹事会の開催

日　時：令和元年 4 月 24 日（水）15：00～17：00

場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：春田部会長　以下 4 名（運営幹事会 5 名と合同）計 9 名
議　題：調達生産部会及び WG の方向性　他

③自動車産業適正取引ガイドライン、下請法セミナーの開催
目　的：自動車産業適正取引ガイドラインをサプライチェーンに広く周知し、サプライチェーン全体で適正取引を進める。
日　程：7 月 24 日（太田 81 名）、7 月 26 日午前・午後（東京計 183 名）、8 月 6 日（大阪 83 名）、8 月 28 日（浜松 135 名）、9 月 5 日（広島 84 名）、9 月 26 日（刈谷 130 名）、9 月 27 日（名古屋 124 名）計 820 名。
内　容：ⅰ自動車産業適正取引ガイドライン
経済産業省製造産業局自動車課
ⅱ下請法について　のぞみ総合法律事務所　弁護士　大東　泰雄　氏

④旧型補給部品 WG の開催
日　時：平成 31 年 4 月 9 日（火）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：粥川座長　以下 18 名
議　題：ⅰ　取引適正化・旧型補給 WG 活動成果説明会の概要
ⅱ　2019 年度の活動の進め方　他

日　時：平成 31 年 4 月 25 日（金）14：00～17：00（座長・副座長会議）
場　所：デンソー名古屋オフィス
出席者：粥川座長、森・加藤副座長　3 名
議　題：5 月 31 日 WG の進め方の検討　他

日　時：令和元年 5 月 31 日（金）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：粥川座長　以下 15 名
議　題：ⅰ　今年度の WG 活動体制
ⅱ　今年度の活動の進め方、活動事項、活動スケジュール

日　時：令和元年 6 月 28 日（金）14：00～17：00（座長・副座長会議）
場　所：デンソー名古屋オフィス
出席者：粥川座長　森・加藤副座長　3 名

議　題：7 月 26 日 WG の進め方の検討　他

日　時：令和元年 7 月 26 日（金）14：00～16：00
場　所：ＡＰ品川 10 階 E 会議室
出席者：粥川座長　以下 18 名
議　題：ⅰ　会員企業の困り事アンケート
　　ⅱ　アンケートの困り事の解決に向けたベストプラクティスの集め方　他

日　時：令和元年 10 月 18 日（金）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：粥川座長　以下 15 名
議　題：ⅰ　型協議会の検討状況
　　ⅱ　型廃棄のベストプラクティス収集内容の報告

日　時：令和 2 年 1 月 17 日（金）15：00～17：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：粥川座長　以下 15 名
議　題：ⅰ　型協議会の説明
　　ⅱ　旧型補給部品の課題解決に向けた説明会の資料

日　時：令和 2 年 2 月 19 日（水）14：00～17：00（座長・副座長会議）
場　所：デンソー名古屋オフィス
出席者：粥川座長、森・加藤副座長　3 名
議　題：旧型補給部品の課題解決に向けた説明会

⑤電子部品供給問題ＷＧの開催
日　時：令和元年 7 月 4 日（木）14：30～15：50
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：辻座長　以下 9 名
議　題：WG 活動とりまとめ

⑥紛争鉱物に関する会議の開催
⑥-1 自工会/部工会実務者連絡会
日　時：平成 31 年 4 月 12 日（金）10：30～11：20
場　所：日本自動車会館　「会議室」
出席者：自工会 7 名、部工会 8 名

議　題：ⅰ　調査マニュアル、調査の手引きの改定検討
　　ⅱ　調査スケジュール　他

日　時：令和元年 5 月 24 日（金）10：30～11：00
場　所：自工会　「会議室」
出席者：自工会 9 名、部工会 8 名
議　題：ⅰ　紛争鉱物調査及び調査資料の改訂内容確認
　　ⅱ　調査スケジュール

日　時：令和 2 年 1 月 22 日（水）10：30～11：30
場　所：(一社）電子情報技術産業協会（JEITA）　「会議室」
出席者：自工会 10 名、JEITA11 名、部工会 2 名
議　題：ⅰ　CMRT 改定に伴う調査マニュアル、集計ツールへの影響
　　ⅱ　調査スケジュール

日　時：令和 2 年 2 月 25 日（火）10：10～11：30
場　所：自工会「会議室」、各社 TV、電話会議システムで接続
出席者：自工会 8 名、部工会 2 名
議　題：ⅰ　次年度 CMRT 調査に関する協議・確認

⑥-2 コンフリクト・フリーソーシングＷＧの開催
日　時：令和元年 5 月 24 日（金）13：30～13：45
場　所：JEITA　「412－414 会議室」
出席者：JEITA16 名、自工会 9 名、部工会 8 名
議　題：6 月実施の責任ある鉱物調達調査説明会の個別相談会の対応　他

⑥-3 紛争鉱物規制対応ＷＧの開催
日　時：令和元年 5 月 24 日（金）14：00～14：40
場　所：JEITA　「405 会議室」
出席者：山内座長　以下 9 名
議　題：ⅰ　調査スケジュール
　　ⅱ　紛争鉱物調査及び調査資料の改訂内容

⑦BCP レベルアップセミナーの開催
日　程：令和元年 12 月 17 日(東京 17 名)、令和 2 年 1 月 21 日(名古屋 15 名)、
　　1 月 28 日（浜松 8 名)、2 月 5 日（大阪 6 名)、2 月 6 日（広島 9 名）

計 55 名。
内　容：ⅰ　水災を想定した演習
ⅱ　水害ロードマップの解説

(7) 政府の型取引の適正化推進協議会（型協議会）への対応
①型協議会の目的
・中小企業庁・公正取引委員会が平成 30 年 12 月に実施した集中ヒアリング結果に基づいて、受注側の中小企業から見た型に関する課題（保管期限、所有権、保管費用及び廃棄費用の支払い、作成費用の支払方法）の解決に向けて、型取引の取引条件の明確化、「型管理の在り方」についての目安の設定を検討する為に型取引の適正化推進協議会が令和元年 8 月に設置された。
②型協議会への部工会の対応
・部工会から、総務委員会調達・生産部会長の藤井 多加志氏（㈱リケン執行役員）が委員として、旧型補給部品 WG 副座長の森 晴哉氏（㈱デンソー調達企画部担当次長）がオブザーバとして参加し、論点に対する部品業界の意見、考え方を説明した。
③型協議会での検討
・型協議会は、学識経験者、弁護士の他、受注側業界として、素形材業界・企業、発注側業界として自動車業界（自工会、部工会）、電機・電子部品業界（JEITA）、航空宇宙業界（航空宇宙工業会）、産業機械業界（産業機械工業会）等で構成された。
・具体的な検討は型協議会の傘下に作業部会、目安分科会を設置し、型協議会も含めると計 8 回の会合を開催し、毎回活発な議論が行われ、10 月 25～11 月 24 までのパブリックコメントを経て、12 月 6 日に報告書が発表された。
④型協議会報告書に対する部工会の対応
・型協議会の報告書記載の課題に対して、当会および会員の取り組みの対応を検討し、自工会とのとの実務者会合にむけた準備を行った。
・自工会との連携活動には、㈱リケン執行役員 藤井 多加志氏、㈱デンソー調達企画部担当次長 森 晴哉氏、ボッシュ㈱購買部門ｼﾆｱｾﾞﾈﾗﾙﾏﾈｰｼﾞｬｰ 佐藤健氏、ＫＹＢ㈱調達企画部部長 牧田 一城氏に参加いただいた。

①型協議会の開催
（第 1 回）
日時：令和元年 8 月 6 日（火）10：00～12：00
場所：経済産業省別館　3 階　「312 各省庁共用会議室」
（第 2 回）

日時：令和元年 9 月 30 日（月）13：00～15：00
場所：AP 虎ノ門　11 階　「A ルーム」
（第 3 回）
日時：令和元年 10 月 18 日（金）13：00～15：00
場所：経済産業省別館　9 階　「944 各省庁共用会議室」

②作業部会
（第 1 回）
日時：令和元年 8 月 23 日（金）9：00～12：00
場所：経済産業省別館　3 階　「312 各省庁共用会議室」
（第 2 回）
日時：令和元年 9 月 5 日（木）10：00～12：00
場所：経済産業省別館　9 階　「944 各省庁共用会議室」
（第 3 回）
日時：令和元年 9 月 13 日（金）10：00～12：00
場所：経済産業省別館　9 階　「948 各省庁共用会議室」

③目安分科会
（第 1 回）
日時：令和元年 8 月 29 日（木）16：00～18：15
場所：経済産業省別館　2 階　「227 各省庁共用会議室」
（第 2 回）
日時：令和元年 9 月 19 日（木）9：30～10：30
場所：経産省本館　17 階　東 6　「第 3 共用会議室」

④型協議会報告書に関する対応の打合せ
日　時：令和元年 12 月 5 日（木）14：00～18：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：藤井部会長　以下 3 名
議　題：ⅰ　前回調達生産部会での型協議会対応の再確認
　　ⅱ　自工会との実務者会議に向けた検討

日　時：令和 2 年 2 月 12 日（水）10：00～12：00
場　所：自動車部品会館　「会議室」
出席者：藤井部会長　以下 3 名
議　題：ⅰ　会員企業の取り組みについて検討

（8）人事労務研究会

自動車・部品産業が直面する労政問題、安全衛生問題、国際人事問題等の情報交換及び改善に向けた取組み紹介や講演会を自動車工業会、車体工業会と連携して行った。

① 人事労務研究会

・平成 30 年度の事業報告・収支予算及び令和元年度事業計画・収支予算について報告した。また、男性育児休業の制度設計・利用度向上・先進事例に関する講演会を開催した。

② 労政分科会

②-1 労政合同分科会

・2019 年春季労使交渉の振り返りや労働時間、採用実績・計画、初任給及び、夫婦二人の社員の異動ルール、ジョブリターン制度、出向先で管理職に就いた社員への手当について意見交換を行った。

・自動車産業労政合同会議では、同一労働同一賃金についてアンケートをもとに弁護士から解説をいただいた。また、自工会・車工会も含めた各社の対応状況について情報を共有し、各社に課題解決の参考にしていただいた。

②-2 国際人事分科会

・令和 2 年 1 月以降のイラン・中東の情勢、新型コロナウイルス感染症への各社の対応状況をタイムリーに調査し、メンバ間で共有し、各社の取組みの参考にしていただいた。

②-3 労政合同勉強会

・「ワークライフバランス」をテーマに取り上げて、先行事例としてユニリーバにおけるワークライフバランス活動「WAA」の講演会を開催するとともに、各社におけるテレワークの取組状況について情報交換を行った。

・2020 年度春季労使交渉に向けて経営者側の考え方（日本経団連「経営者労働政策特別委員会報告」に関する講演会を開催するとともに、各社の春季労使交渉の要求内容・交渉見通しについて情報交換を行った。

③ 安全衛生分科会

③-1 安全衛生分科会

・トヨタ自動車東日本㈱の工場見学を実施し、熱中症をはじめとした安全対策について取り組みをご紹介いただいた。また、労働災害の事例発表を行い、構内工事業者の安全対策や非定常作業における災害対策、労働災害の風化防止について意見交換を行った。

③-2 調査研究ＷＧ

・A グループでは「転落事故防止」を、B グループでは「熱中症発症低減」を

研究テーマに設定し、10 ヶ月間に渡って各社の事例調査や検討、異業種訪問等の活動を行い、９月の自動車産業安全衛生大会で成果を発表した。
・A・B グループの発表は、第 79 回（令和 2 年度）全国産業安全衛生大会（中災防主催）で発表することが決定した。
③-3 メンタルヘルス分科会
・復職者のための対応マニュアル／ガイドブックを作成し、メンバー会社で共有した。

①人事労務研究会の開催

日　時：令和元年 8 月 6 日（火）15：00～17：00
場　所：浜松町東京會舘　「パール」（会議）
「オリオン」（講演）
出席者：7 名
議　題：ⅰ　平成 30 年度の事業報告
ⅱ　令和元年度の事業計画(案)　他
＜講演＞『男性育児休業の制度設計・利用度向上・先進事例に関する講演会』
講師：㈱株式会社ワーク・ライフバランス　コンサルタント 二瓶 美紀子 氏

②労政合同分科会／自動車産業労政合同会議の開催

・労政合同分科会（車工会、部工会合同）
日　時：令和元年 7 月 26 日（金）15：00～17：00（会議）
17：15～18：30（情報交換会）
場　所：車工会「会議室」（会議）
芝パークホテル「ローズルーム」（情報交換会）
出席者：車工会 3 名、部工会 10 名
議　題：ⅰ「2019 年春季労使交渉調査」
ⅱ「2019 年採用実績、2020 年採用計画」
ⅲ「2019 年初任給調査」
ⅳ「2019 年労働時間調査（1 月～3 月）」　他

・自動車産業労政合同会議、情報交換会（自工会、車工会、部工会合同）
日　時：令和元年 9 月 20 日（金）14：30～16：50（会議）
17：00～18：15（情報交換会）
場　所：自工会「大会議室」（会議）
くるまプラザ「第 3 会議室」（情報交換会）
出席者：自工会 13 名、車工会 5 名、部工会 16 名

議　題：＜情報交換＞『「同一労働同一賃金」の対応
～アンケートに沿った情報交換並びに質疑応答～』
解説：弁護士　安西法律事務所　荻谷　聡史　氏

③労政合同勉強会、情報交換会（自工会、車工会、部工会合同）
日　時：令和元年 12 月 5 日（木）14：00～16：30（会議）
16：45～18：45（情報交換会）
場　所：　品川インターシティ貸会議室「会議室３」（会議）
青蓮 品川インターシティ店（情報交換会）
出席者：自工会 10 名、車工会 7 名、部工会 18 名
議　題：講演　ユニリーバにおけるワークライフバランス活動「WAA」
講師　ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス㈱
人事総務本部長　島田 由香　氏
情報交換『各社におけるテレワークの取組状況について』

日　時：令和 2 年 2 月 7 日（金）14：00～17：00（会議）
17：00～19：00（情報交換会）
場　所：　TKP 日本橋カンファレンスセンター　「ホール 316」（会議）
TKP 日本橋カンファレンスセンター　「カンファレンスルーム 203」（情報交換会）
出席者：自工会 13 名、車工会 2 名、部工会 15 名
議　題：講演　「2020 年春季労使交渉に臨む経営側の考え方」
講師 日本経済団体連合会　労働政策本部　主幹　清家 武彦　氏
情報交換　「春季労使交渉の要求内容・交渉見通し等」

④安全衛生分科会等の開催
④-1 安全衛生合同分科会
日　時：令和元年 7 月 4 日（木）15：15～16：35
場　所：トヨタ自動車東日本㈱　本社・宮城大衡工場
出席者：松浦分科会長　以下 22 名
議　題：ⅰ　トヨタ自動車東日本㈱工場見学・意見交換
ⅱ　災害事例報告
ⅲ　各社の「安全衛生管理計画・方針」　他

④-2 自動車産業安全衛生大会、情報交換会（自工会、部工会合同）
日　時：令和元年 9 月 27 日（金）13：00～17：00（大会）

17：10～18：40（情報交換会）

場　所：品川シーズンテラスカンファレンス

「カンファレンス A+B+C」（大会）

「ホワイエ」（情報交換会）

内　容：・研究発表Ⅰ「熱中症発症低減に向けた考察」

部工会 B グループ幹事 粕谷 一男 氏

（カルソニックカンセイ㈱ ㈱現マレリ㈱　東海工場総務チーム）

・研究発表Ⅱ「工事安全管理の充実 ～ともに働く仲間を守るために～」

自工会 A グループ幹事　松原 良一　氏

（マツダ㈱ 安全健康防災推進部　アシスタントマネージャ）

・研究発表Ⅲ「転落事故防止についての考察」

部工会 A グループ幹事　川合　公純　氏

（市光工業㈱ 総務部 安全環境課）

・研究発表Ⅳ「300 撲滅活動の一考察

～60 歳以降も無災害で働くために～」

自工会 B グループ幹事　森　伸也　氏

（日産自動車㈱ 人事本部

人財開発/HR ﾌﾟﾛｾｽﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ部　安全健康管理室）

・特 別 講 演「江戸下町の安全活動～落語に学ぶ、安全の知恵～」

落語家　三遊亭 多歌介　氏

参加者：124 名

④-3 自動車産業安全衛生大会企画委員会（部工会及び自工会合同）

内容：自動車産業安全衛生大会の企画立案及び運営に係る準備会合

日時：令和元年 5 月 13 日、7 月 29 日、9 月 6 日

④-4 調査・研究 WG

（A グループ　4～11 月）

内容：「転落事故防止についての考察」に関する調査・研究

日時：平成31年4月12日、令和元年5月17日、6月14日、7月18日～19日、
8月9日、8月30日、11月29日

（A グループ　12～3 月）

内容：「構内委託・請負、納入・搬出 業務の安全管理（仮）」に関する
調査・研究

日時：令和元年12月20日、令和2年1月31日、2月28日（中止）、
3月27日（中止）

（B グループ　4～11 月）

内容：「熱中症発症低減に向けた考察」に関する調査・研究
日時：平成31年4月26日、令和元年5月24日、6月28日、7月16日～17日、
8月2日、8月23日、9月3日、11月22日
（Bグループ　12～3月）
内容：「外国人労働者の安全確保　（仮）」に関する調査・研究
日時：令和元年12月20日、令和2年1月17日、2月28日（中止）、
3月24日（中止）

④-5 メンタルヘルス実務者連絡会
（メンタルヘルス実務者連絡会）
日　時：令和元年6月25日（火）
場　所：AP品川　　「Jルーム」
議　題：ⅰ　情報交換
メンタルヘルス活動紹介（日本特殊陶業㈱）
「健康経営の取り組み」
ⅱ　グループワーク
テーマ：「復職者の上司のための対応マニュアル/ガイドブック」の作成
参加者：22名

日　時：令和元年9月20日（金）
場　所：安保ホール　「601号室」
議　題：ⅰ　情報交換
メンタルヘルス活動紹介（KYB(株)）
「メンタルヘルスセミナー紹介　～睡眠負債が仕事に与える影響～」
ⅱ　グループワーク
テーマ：「復職者の上司のための対応マニュアル/ガイドブック」の作成
参加者：17名

日　時：令和2年2月19日（水）11：30～17：00
場　所：安保ホール　「601号室」
議　題：ⅰ　今後の連絡会の方針
ⅱ　情報交換
メンタルヘルス活動紹介（KYB(株)）
「海外労働者の受け入れについて
ⅲ「復職者の上司のための対応マニュアル/ガイドブック」へのスーパーバイズ
ⅳ　講演

講師：大同特殊鋼㈱ 産業医 斉藤 政彦 氏
テーマ：「メンタル不調者を支える上司への支援」
ｖ 新型コロナウイルス関連の各社対応紹介
参加者：17 名

（幹事会）
日　時：平成 31 年 4 月 9 日（火）14：30～16：45
場　所：安保ホール 「701 号室」
議　題：ｉ 2019 年度事業計画の具体的な検討
ⅱ 2019 年度第 1 回メンタルヘルス実務者連絡会の運営
参加者：9 名

日　時：令和元年 6 月 4 日（火）14：00～17：00
場　所：自動車部品会館 「702 会議室」
議　題：ｉ 2019 年度第 1 回メンタルヘルス実務者連絡会の運営
ⅱ 2019 年度の具体的な運営
参加者：7 名

日　時：令和元年 7 月 29 日（月）12：30～16：00
場　所：安保ホール 「202 号室」
議　題：ｉ 2019 年度の連絡会・幹事会の開催スケジュール
ⅱ 「復職者の上司のための対応マニュアル/ガイドブック」のまとめ方の検討
ⅲ 2019 年度第 2 回連絡会の運営
ⅳ 今後の連絡会の方針
参加者：7 名

日　時：令和元年 12 月 10 日（火）13：00～16：30
場　所：自動車部品会館 「702 号室」
議　題：ｉ 「復職者の上司のための対応マニュアル/ガイドブック」の作成
ⅱ 2019 年度第 3 回連絡会の運営
ⅲ 今後の連絡会の方針
参加者：7 名

④-6 令和元年度「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」の受賞
受賞者：ＫＹＢ㈱ 岐阜東工場 製造管理

製造係長　畑佐　直民　氏
トヨタ紡織㈱　刈谷工場　樹脂製品製造課　樹脂製品 2 係
工長　田口　博基　氏

3. 中小企業関連

（1）中小企業施策委員会

①　委員会

・中小企業への支援活動の進捗状況の確認と今後の取組み方針について検討した。また、経産省自動車課より、型取引の適正化に向けた今後の対応（経済産業省・中小企業庁・公正取引委員会）等、政府施策に関する説明を受け、情報共有、意見交換を行った。

②Web 展示会の運営

・Web 展示会の魅力向上に向けた取組みとして、10 月から無料キャンペーンを企画し、本年 5 月の東日本・中日本・西日本支部の年次会において、Web 展示会とサービスキャンペーンの説明と参加を要請した。

・その結果、22 社のキャンペーン出展があり、既存出展企業と合わせて 31 社による運営を行い、自動車メーカー等来場者のアクセスが増加した。

③第 46 回東京モーターショー2019 への出展

・10 月 24 日（木）～11 月 4 日（月・祝）開催の第 46 回東京モーターショー 2019 への中小会員企業 7 社による共同出展を行った。共同出展を充実するため、共同出展 WG において展示ブースの検討、集客促進について意見交換を行った。その結果、東京ＭＳ開会前に共同パンフレットを作成し、出展企業各社による関係者への配布活動を実施した。

・共同出展ブースには多くの来場者があり、自社の製品、技術等のＰＲに貢献し、出展者の満足度も高かった。

④ 中小企業等経営強化法による経営力向上推進機関の取組み

・中小会員企業の生産性向上等支援活動として、生産現場における省力化の取組に関する実務担当者向けセミナーを東京、名古屋、大阪で開催した。

・IoT を有効活用した生産現場の省力化事例、生産現場における紙文書業務の自動化・省力化の取組み等を勉強し、参加者の満足度も高かった。

⑤工場見学会の開催

・中小会員企業のものづくり力向上への支援を目的として、生産システムの革新、改善等に取り組んでいる異業種企業の生産現場の見学会を開催した。

・7 月は、鋳造技術の革新に取り組まれ独自技術を確立した㈱木村鋳造所の協力により、同社の 3D プリンタを活用した鋳物生産システムの見学を行った。本システムは、3D プリンタを使うことにより、精密鋳物の受注から納品までの期間を一般的な工法と比べて約 10 分の 1 の短縮化を実現してお

り、参加者には好評であった。
・3 月には小型車の厳しいコスト競争の中で、知恵や工夫により製造現場のものづくり力を高めているトヨタ自動車東日本㈱の見学会を予定していたが、次年度に延期した。
⑥セミナーの開催
・自動車のリコールの動向に関するセミナーを東京、広島、浜松、太田で開催し、国内外での自動車リコールの最新情報と企業対応の必要性について理解を深めていただいた。また、部工会で運営している「団体リコール保険制度」を紹介し、募集を行った。
・中小会員企業の IT 活用のレベルアップに向けた取組み支援として計画した製造業における BtoB サイトの在り方等に関するセミナー（3 月）は、次年度に延期した。

①委員会の開催

日　時：令和元年 7 月 19 日（金）13：45～15：15
場　所：ウェスティンホテル大阪　「舞の間」
出席者：6 名
議　題：ⅰ　Web 展示会サービスの魅力向上に向けた取組み状況
ⅱ　実物展示の計画案
ⅲ　2019 年度の中小企業施策委員会の活動状況、事業分野別経営力向上推進機関の活動について　他

日　時：令和元年 12 月 6 日（金）13：45～15：15
場　所：名古屋東急ホテル「桜の間」
出席者：8 名
議　題：ⅰ「Web 展示会無料お試しキャンペーン」の状況報告
ⅱ　IT 活用に関する支援活動
ⅲ　中小企業施策委員会の活動状況、今後の計画　他

日　時：令和 2 年 3 月 26 日（木）（4 月 23 日に延期し、最終的に中止）
場　所：八芳園　「会議室」

②Web 展示会の運営
・Web 展示会の魅力度の向上するための活動を行った。主な活動は下記のとおり。
②-1 出展企業数の増加
・各支部年次会（5/23 東日本・5/16 中日本・5/17 西日本）において Web 展示会の PR と新規加入促進に向けた無料お試しキャンペーンの紹介と

参加を要請した。

・無料お試しキャンペーン（10 月～12 月）に 22 社が参加。既存出展企業 9 社と合わせて 31 社で Web 展示会を運営した。（キャンペーンは 2020 年 3 月まで延長）

②-2 閲覧時サイトの改善

・閲覧時のサイトデザインを一部変更し、製品表示画面の閲覧性の向上を図った。

③生産性向上取組みセミナーの開催

日　時：令和元年 10 月 5 日（金）14：00～16:50
場　所：富士通 関西システムラボラトリ　「セミナールーム C」
講　師：富士通㈱ 他
参加者：7 名

日　時：令和元年 10 月 23 日（水）14：00～16:50
場　所：富士通 DX センター　「セミナールーム 2」
参加者：6 名

日　時：令和元年 11 月 7 日（木）14：00～16:50
場　所：富士通 DX センター　「セミナールーム 2」
参加者：8 名

日　時：令和元年 11 月 27 日（水）14：00～16:50
場　所：富士通㈱ 東海支社　「セミナールーム 1＋2」
参加者：15 名

④工場見学会の開催

日　時：令和元年 7 月 10 日（木）14：00～16：00
見学先：㈱木村鋳造所　先端プロセス技術センター
内　容：見学①　3Dプリンタを使った鋳物作りの全工程の見学
　　見学②　3Dデータから鋳物にする前の発泡模型製作の工程の見学
参加者：13 名

日　時：令和 2 年 3 月 16 日（月）（延期）
見学先：トヨタ自動車東日本㈱　本社・宮城大衡工場
内　容：車両組立ライン、からくり道場、トヨタ東日本学園等の見学

⑤リコールセミナーの開催

日　時：令和元年 5 月 24 日（金）14：00～16：00
場　所：品川東急ビル　「会議室」
テーマ：国内外における自動車のリコールの動向について
講　師：SOMPO リスクマネジメント㈱　リスク調査部
　　賠償・労災グループ 主任コンサルタント 安藤 悟空 氏

日　時：令和元年 6 月 5 日（金）13：30～15：30
場　所：ふれあい会館　「会議室」
　　＊講師、テーマは上記と同じ

日　時：令和元年 8 月 7 日（水）15：00～17：00
場　所：浜松市新津協働センター　「会議室」
　　＊講師、テーマは上記と同じ

日　時：令和元年 9 月 24 日（火）14:00～16:00
場　所：太田市学習文化センター　「第一研修室」
　　＊講師、テーマは上記と同じ

⑥IT 有効活用に関するセミナーの開催　（延期）

日　時：令和 2 年 3 月 12 日（木）東京、3 月 18 日（水）大阪
場　所：東京（自動車部品会館　「会議室」）
　　：大阪（富士通 関西システムラボラトリ「セミナールーム C」）

4．二輪車部品について

①　二輪車部品委員会

・ヤマハ発動機㈱の協力を得て、同社の①大型バイク・スクーター等の生産工場の見学、②同社がこれまで製造してきた二輪車、ボート等の製品を展示しているコミュニケーションプラザの見学、③今後の二輪車の展望に関する講演会を開催した。
・工場見学会では、セル生産やサブラインでのモジュール化を活用したショートライン生産等、製品の特性に合わせた生産方式の取組みやヒューマンエラーロスの取組み、作業者の負荷低減の工夫等々を見学し、大変勉強となった。また、講演会では、二輪事業の更なる可能性や部品メーカーとして更に QCD 等に取組んでいく必要性を認識した。

②　バイク・ラブ・フォーラム（BLF）活動への参加

・経済産業省、地方自治体、バイク業界団体で構成する BLF の参加団体の一員として、9 月 20 日(金)に山梨県甲府市で開催された「第 7 回 BIKE LOVE FORUM（以下 BLF）in やまなし」の企画に協力・参加した。

・今回は、バイクユーザを含めてバイクを愛する人たち約 250 名が一堂に会して、「二輪車の事故防止と安全教育」「バイクデザイン」「女性の活躍」について、パネルディスカッション等を通じて意見交換を行い、情報発信を行った。
・会員企業へイベントを周知、参加を呼びかけ、二輪車部品委員会メンバー、会員企業、事務局等が参加した。

①ヤマハ発動機㈱工場・施設見学会、講演会の開催
日　時：令和元年 9 月 24 日（火）10：30～14：30
場　所：ヤマハ発動機㈱ 本社
内　容：ⅰ 大型バイク・スクーターの工場見学
ⅱ コミュニケーションプラザの見学
ⅲ 同社のモーターサイクル事業の将来についての講演
参加者：40 名

②「第 7 回 BIKE LOVE FORUM（BLF）in やまなし」の概要
日　時：令和元年 9 月 20 日（金）13：00 分～17：30
場　所：ベルクラシック甲府　「エリザベート」
プログラム（主要な内容を抜粋）：
① 二輪車産業政策ロードマップ進捗状況の報告
② パネルディスカッション(1)「やまなしを　楽しくセーフティライディング」
・パート 1：山梨県の対策・活動事例紹介
・パート 2：日常利用、ツーリング走行のそれぞれに、いかに安全で楽しい運転をおこなうか
③ トーク対談「新時代 令和 これからのバイクデザイン」
④ パネルディスカッション(2)「女性ライダーの活躍に期待」
参加者：約 250 名

5. 補修部品用品について

(1)補修部品用品委員会
①委員会体制の見直し
・令和元年度は東日本支部補修部品用品研究会と統合し、更に西日本支部補修部品用品分科会、中日本支部会員会社と連携して活動の充実を図った。
②委員会・幹事会の開催
・7 月に第 1 回委員会を開催し、令和元年度の委員会の運営体制や活動計画について検討を行い、10 月に車体メーカーの見学会、令和 2 年 2 月頃に最新鋭の物流施設の見学の実施を決定した。また幹事会を設置し、事業計画の事前検討、進捗状況を確認する等、計画的な委員会活動に取り組んだ。

・委員会メンバーを対象にアンケート調査を実施し、その結果を踏まえて令和2年度の活動計画を決定した。
③講演会の開催
・自動車ジャーナリストの桃田 健史氏から、「CASEが与える補修部品用品市場の影響と変化」をテーマに、具体的な事例を踏まえて講演をいただいた。講演会終了後には情報交換会を開催し、講師及び参加者の懇親を図った。
④工場見学会・施設見学会の開催
・ボトルカー（清涼飲料水運搬車）のリーディングカンパニーである須河車体㈱本社工場において、市場の潜在的なニーズをカタチにするものづくりの現場等を勉強した。
・新たな補修部品流通に取組んでいる㈱MonotaRO の笠間ディストリビューションセンターの最新鋭物流システムの見学会を実施する予定であったが、次年度に延期した。

①委員会の開催
日　時：令和元年7月30日（火）14：00～15：00
場　所：八芳園　「サクレ」
議　題：ⅰ 委員自己紹介
ⅱ 2019年度補修部品用品委員会の体制と事業内容
ⅲ 委員会の今後のスケジュール
出席者：24名

日　時：令和2年3月開催　（書面審議）
議　題：2020年度の補修部品用品委員会事業計画案

②幹事会の開催
日　時：令和元年4月8日（月）15：30～16：45
場　所：自動車部品会館　「会議室」
議題案：ⅰ 2019年度補修部品用品委員会の体制
ⅱ 2019年度の補修部品用品委員会の活動計画案
※引き続き、懇親会を開催（17：00～19：00）

日　時：令和元年12月18日（火）16：00～17：30
場　所：自動車部品会館　「会議室」
議題案：ⅰ 委員会事業アンケート結果
ⅱ 施設見学会実施に向けた進捗状況
ⅲ 2020年度事業計画案

※引き続き、懇親会を開催（17：30～19：00）

③講演会の開催

日　時：令和元年 7 月 30 日（火）15：15～16：45
場　所：八芳園　「エタニティー」
演　題：CASE が与える補修部品用品市場の影響と変化
講　師：自動車ジャーナリスト　桃田 健史 氏
参加者：28 名
※引き続き、懇親会開催（17：00～18：30）

④工場・施設見学会の開催

日　時：令和元年 10 月 11 日（金）14：00～16：00
場　所：須河車体㈱本社工場
参加者：13 名

日　時：令和 2 年 3 月 11 日（水）～12 日（木）3 回に分けて実施（延期）
場　所：㈱MonotaRO　笠間ディストリビューションセンター

Ⅳ．国際業務関係

1．国際委員会の開催

①海外事業安定化と知的財産権保護活動の支援

会員の海外事業展開支援と知的財産権保護のため、FTA・通商部会と知的財産権部会において各種事業を実施した。また、会員企業への情報提供として、JAPIA 北米代表の一時帰国報告会を東京、名古屋で開催した。合計 70 名を超える参加者となり、「現地の視点で解説していた点が良かった」、「未来のトレンドを考えさせられる良いセミナーだった」等の意見があり、非常に高い評価を得た。

②会長コメントの発出

令和元（2019）年 9 月 26 日に日米貿易協定が最終合意したことを受け、岡野部工会会長名にて、日本の部品産業にとって自由貿易の拡大が極めて重要で、自動車分野における日米間の自由で公正な貿易環境が維持・強化されることを歓迎する旨のコメントを部工会ホームページに掲載した。

③研究会活動

継続事業としてテーマ別研究会を開催。第 1 回は「米国通商政策の現状と自動車産業への影響」、第 2 回は「米中貿易摩擦とビジネスへの影響」と、2 回連続して会員の関心の高い米国の通商動向をテーマに選定、専門家による解説と意見交換を通じて要望に応えた。参加者からは「情報が整理され分かりやすかった」「企業にとっての留意点が有意義であった」など、高い評価を得た。第 3 回は初めての試みとして日本銀行調査統計部を講師に招き「世界経済と日本の輸出を巡る最近の動向」及び、部工会・大下専務理事から「BREXIT の今後の展開」についての解説を実施した。日銀が講師を担当した内容については、もう少し自動車分野に焦点を当ててもらいたいという意見がある一方、日銀が現状をどのように捉え、先をどのように読んでいるかは定期的に聞きたいといったコメントもあり、概ね高評価であった。第 4 回はみずほ銀行法人営業部から「中国自動車市場の最前線」をテーマに行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、委員会を書面審議に切り替え、研究会は次回以降に延期とした。

④海外事業概況調査の実施

会員企業の海外事業実態を継続的に把握するため、本年度も海外事業概況調査を実施。約 8 割の会員から回答を得た。第 2 回国際委員会で行った速報では、「海外生産法人数は微増」「海外での売り上げは全体で 18.5 兆円まで成長」「各地で地産地消が基本」等が特徴として報告された。その後、更に調査結果の精査・要因分析を進め、第 3 回国際委員会で最終報告を行い、12 月に部工会ホームページにて一般公開を実施。また現在の調査内容及び結果取り

まとめは、平成 24（2012）年より変更しておらず、企業の環境変化に対応していない面があるため、令和 2（2020）年度にタスクフォースを設置し、集中的に議論し、時勢にあった調査内容・取りまとめ結果に改訂することとした。

第 1 回委員会

日時：令和元年 7 月 4（木）15：00～17：30

場所：自動車部品会館　601 会議室

議題：①　本年度　国際委員会委員について

②　最近の情勢（経済産業省自動車課）

③　本年度国際委員会事業計画概要

④　日米欧三極自動車部品会議及び G7 会合報告

⑤　本年度事業の進捗について

ⅰ　EPA 活用促進に向けた自工会・部工会連携活動

ⅱ　知的財産権部会の活動

ⅲ　海外事業概況調査実施について

⑥「NAFTA」研究会

講演：「米国通商政策の現状と自動車産業への影響」

講師：みずほ総合研究所 政策調査部 主席研究員 菅原 淳一 氏

みずほ銀行 産業調査部自動車・機械チーム 次長 小澤 郁夫 氏

みずほ銀行 産業調査部自動車・機械チーム 調査役 鈴木 晃祥 氏

第 2 回委員会

日時：令和元年 9 月 26 日（木）14：00～16：30

場所：自動車部品会館　601 会議室

議題：①　最近の情勢（経済産業省自動車課）

②　本年度上期国際委員会事業報告について

③　海外事業概況調査速報

④　EPA 原産性調査　自工会との取り組みについて

⑤　「NAFTA 」研究会

講演：「米中貿易摩擦とビジネスへの影響」

講師：独立行政法人　日本貿易振興企業（JETRO）

海外調査部米州課長　藤井 麻理 氏

第 3 回委員会

日時：令和元年 12 月 3 日（火）14：00～16：30

場所：自動車部品会館　601 会議室

議題：①　最近の情勢（経済産業省自動車課）
②　本年度　国際委員会事業実績見込み
③　海外事業概況調査　公表について
④　研究会
講演：「世界経済と日本の輸出を巡る最近の動向」
講師：日本銀行調査統計局 経済調査課企業調査グループ長 沓脱 誠 氏

解　説：「BREXIT の今後の展開について」
説明者：（一社）日本自動車部品工業会 副会長・専務理事 大下 政司

第 4 回委員会（書面審議）
新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、書面審議による委員会へ変更。令和 2 年 3 月 25 日に報告事項については質疑応答を完了、審議事項については了承を得た。
議題：①　本年度事業の推進
②　日米欧 3 極、7 極　国際部工会会合
③　EPA 原産性調査　業界標準システムについて
④　海外事業概況調査　タスクフォース設置について

2. 国際委員会幹事会の開催
第 1 回幹事会
日時：令和元年 6 月 20 日（木）15：00～17：00
場所：自動車部品会館　701 会議室
議題：① 第 1 回国際委員会議題について
② 次々回の研究会テーマについて

第 2 回幹事会
日時：令和元年 9 月 12 日（木）15：00～16：30
場所：自動車部品会館　701 会議室
議題：第 2 回国際委員会議題及び研究会の進め方について

第 3 回幹事会
日時：令和元年 11 月 21 日（木）16：00～17：00
場所：自動車部品会館　701 会議室
議題：第 3 回国際委員会議題及び研究会の進め方について

第 4 回幹事会

日時：令和 2 年 2 月 12 日（木）15：00～16：30

場所：自動車部品会館　701 会議室

議題：① 次回国際委員会議題

② 2020 年度研究会の進め方について

なお、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、令和 2（2020）年度研究会のテーマについて修正案を検討、3 月 31 日付で幹事会にて承認。

3. 部会・WG の開催

（1）FTA・通商部会

①EPA・FTA 活用の支援

・上期は FTA・通商部会において、会員による EPA 活用事例研究を継続し、2社の事例発表を実施。これをもって部会メンバーによる事例発表が一巡したため、下期からはFTAも含めた通商関連項目からテーマを選定、専門家の解説と意見交換による勉強会を開催した。

・1回目（12月12日）の勉強会は「EPA政策推進の経緯と最近の動向」をテーマに取り上げTSストラテジー㈱を講師として日本政府のEPA政策推進の背景やWTO交渉との関係、現在の交渉状況について解説と意見交換を行った。
2回目（1月31日）はJAPIA北米代表を講師に「北米自動車市場の現状と展望」について実施、部会メンバーから事前に関心事項を集め、解説や意見交換内容に反映させるなど深掘りを行い、部会メンバーの北米に関する情報アップデートに役立てた。

・また、令和2（2020）年度の勉強会で取り上げたいテーマを部会内で確認したところ、関心事項が多岐にわたるため、次年度は部会と勉強会を4回、勉強会のみを3回開催することとした。

②海外安全・健康管理サービスの提供

・海外安全・健康管理サービスとして、安全サポート㈱への業務委託による「JAPIA 安全サポート情報配信」「海外赴任者・出張者講習」「海外人事担当者講習」を継続実施した。

・昨年度まで行っていた「国別海外赴任前講習会」については、部会でのアンケート結果を踏まえ、テーマ別の演習に切り替えることを決定。6 テーマ（自社社員がテロに巻き込まれた場合、武力衝突発生により国外退避する場合、誘拐事件発生の場合、犯罪対策、国際医療搬送、重大な事態発生時のメディア対応）を選定し、第 1 回を 2 月に開催した。2 回目以降は 3 月から順次開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の一環として、延

期を決定した。
③中国自動車産業レポートの発行
・会員の進出が多い中国について、現代文化研究所と委託契約を行い「中国自動車産業レポート」を毎月発行。中国の自動車政策や完成車市場の動向等を中心にレポートを作成、部工会ホームページの会員専用ページにて公開し、全会員に情報提供を実施した。

第 1 回部会
日時：令和元年 6 月 13 日（水）15：00～17：00
場所：自動車部品会館　601 会議室
議題：①　最近の通商動向（経済産業省自動車課）
②　本年度の FTA・通商部会の活動について
③　EPA 原産性調査
・業界ガイドラインに基づく理解活動・普及活動について
・業界標準システム検討状況について
④　国別赴任前講習の結果報告
⑤　EPA 取り組み事例研究（事例発表：日本発条）

第 2 回部会
日時：令和元年 9 月 9 日（月）15：00～17：00
場所：自動車部品会館　601 会議室
議題：①　最近の通商動向（経済産業省自動車課）
②　本年度上期　FTA・通商部会事業報告について
③　EPA 原産性調査
・業界標準システム検討状況について
・日本商工会議所国際部との議論の進捗
・普及活動に関する自工会との合意内容
④　EPA 取り組み事例研究（事例発表：ショーワ）
⑤　アンケート結果報告及びFTA・通商部会の今後の活動案について

第 3 回部会
日時：令和元年 12 月 12 日（月）14：00～17：00
場所：自動車部品会館　601 会議室
議題：①　最近の通商動向、質疑応答（経済産業省自動車課）
②　本年度 FTA・通商部会事業報告及び来年度事業計画について
③　EPA 原産性調査

・業界標準システム検討状況について
・部工会統一フォーマットの改訂について
・日本商工会議所国際部との議論の進捗について
・自工会・部工会による普及活動　進捗について

④　FTA 及び各国の通商政策に関する勉強会について

⑤　勉強会

EPA 政策推進の経緯と最近の動向

講師：TS ストラテジー㈱　代表取締役　藤森 陽子 氏

第 4 回部会

日時：令和 2 年 1 月 31 日（金）14：30～17：00

場所：自動車部品会館　601 会議室

議題：①　本年度事業の推進

・海外安全健康管理サービス　海外緊急事態ｼﾐｭﾚｰｼｮﾝ演習
・EPA 原産性調査　自工会との共同事業の進捗

②　FTA・通商部会　勉強会の今後の進め方について

③　最近の通商動向、質疑応答（経済産業省）

④　勉強会

JAPIA 北米代表との意見交換

講師：JAPIA 北米代表　河島 哲則 氏

（2）国際物流 WG

①EPA 原産性調査への対応

EPA 活用に関わる部品メーカーの負荷を軽減するため、自動車業界として調査方法を標準ルール化し、サプライチェーン全体の負荷軽減を目指す活動である標準化活動・効率化活動・普及活動に、自工会・部工会で継続的に取り組んだ。

・標準化活動では、第三者証明制度、自己申告制度ともに自工会・部工会ガイドラインの策定を完了。「証明方法」「平準化・負荷低減」「役割分担」「協定に基づく調査依頼項目」について、自工会・部工会で合意した。
・効率化活動では、EPA 原産性調査の更なる作業効率化・負荷低減を目指し、自工会・部工会共同で効率化 WG を設置、業界全体で利用するシステム開発に着手。令和元（2019）年 5 月にはパートナー企業を選定し、8～11 月にかけて、システムの機能要件定義に積極的に参加し、仕入れ先の視点も含め、部品メーカーの要望をシステムに反映させた。
・またシステム利用するための費用は、調査依頼者が負担することで確定。

例えば自動車メーカーが調査依頼者となる場合は全ての費用は自動車メーカーが負担し、調査が 2 次、3 次に至っても、それぞれの階層の部品メーカーには、負担は一切発生しないこととなった。

・日本商工会議所国際部に対し、自工会と連携して実施している業界標準システムの入力項目と、判定事務所に提出する書類の項目一致の申し入れを行い、11 月に合意。会員企業とその仕入れ先の負荷低減に加え各判定事務所の負荷も軽減できるよう、合意した一致項目を書類に反映さた。

・普及活動では、業界標準システムの稼働時期に合わせて自工会と合同で説明会等が開催できるよう企画立案を行い、双方の会員ではない 2 次・3 次の仕入れ先や商社/電機メーカーなどへも普及させることを念頭に、普及活動の企画を経済産業省や関係団体へ説明し協力依頼を開始、関係者とは今後も意見交換を継続し協力いただくこととした。

②中国国際通い箱の活用

・日中韓物流大臣会合に備え、令和元（2019）年 6 月に関係省庁へ現状及び変化点を報告する活動を実施。また 11 月にも国土交通省と共同で課題・事実の整理を行い、部工会意見提出を行った。今後も関係省庁と連携し国際通い箱の効率的な活用に向けた取り組みを推進していく。

国際物流 WG の開催

第 1 回 WG

日時：令和元年 5 月 15 日（水）13：00～17：00

場所：自動車部品会館　601 会議室

議題：①　EPA 原産性調査　ガイドライン、マニュアル、フォーマット関連

・第三者証明　フォーマット、マニュアル本年度の改訂

・自己申告　自工会ガイドライン案及び今後の進め方

・新規・更新・再調査の考え方

②　理解活動、普及活動について

理解活動：経産省への理解活動報告

日商国際部への説明日程

各判定事務所への説明、WG メンバーの参加

普及活動：各社の担当地域について

③　効率化 WG での進捗報告について

④　名古屋港施設見学の結果報告

⑤　次回 WG 日程について

⑥　東京都港湾局　2020 年の取り組み説明

（東京都オリンピック・パラリンピック準備局、港湾局港湾経営部）

第 2 回 WG

日時：令和元年 6 月 26 日（水）13：00～17：00

場所：TKP 品川カンファレンスセンター　バンケット 4E

議題：①　標準化活動、理解活動、普及活動

・自工会への申し入れについて

・ガイドライン、フォーマット、マニュアル関連

・経産省への理解活動

・日商国際部への理解活動

・日商との今後の進め方

②　効率化 WG　進捗報告

③　上部組織への報告

④　次回 WG 日程について

第 3 回 WG

日時：令和元年 7 月 30 日（火）13：00～17：00

場所：自動車部品会館　601 会議室

議題：①　標準化活動、理解活動、普及活動

・ガイドライン、フォーマット、マニュアル関連

・日商との標準化の進め方

・普及活動

②　効率化 WG　進捗報告

③　次回 WG 日程について

④　TPP11 勉強会（TS ストラテジー）

⑤　業界標準システムについて（東京共同会計事務所）

第 4 回 WG

日時：令和元年 9 月 5 日（木）13：00～17：00

場所：自動車部品会館　601 会議室

議題：①　効率化 WG 進捗報告

効率化 WG での議論進捗説明（東京共同会計事務所）

②　効率化 WG　部工会内で追加議論し自工会へ提案が必要な事項

・システムでの依頼者への回答、CTC（関税分類変更基準）対比表、計算ワークシート、ダッシュボード機能で依頼者に開示する内容について

・原産地規則が「or 条件」だった場合の調査結果の回答について

・構成部品のサプライヤ証明書について

③　標準化活動
・自己申告制度ガイドラインについて
・サプライヤ証明書の英語版について
・日商国際部による各判定事務所を集めた会合結果
・今後の進め方
④　普及活動
・自工会との打ち合わせ結果
・今後の進め方
⑤　その他
・2020 年オリンピック・パラリンピック期間中の会場周辺の物流
・本年度施設見学について
・次回 WG 日程について

第 5 回 WG
日時：令和元年 11 月 13 日（木）13：30～17：00
場所：自動車部品会館　601 会議室
議題：①　本年度施設見学について
②　2020 年オリンピック・パラリンピック期間中の物流
・日本機械輸出組合での会合　参加報告（情報共有）
③　次回 WG 日程について
④　標準化活動
・新規／更新／再調査について
・自己申告制度に関する今後の対応について
自己申告制度において生産者として感じている課題の整理
ガイドラインへの記載内容
⑤　日商国際部による各判定事務所を集めた会合結果について
・日商と合意した内容
・議論を継続する内容
・今後の進め方
⑥　普及活動について
・経産省への進捗報告
・日商国際部からの申し出について
・今後の進め方
⑦　自工会・部工会　効率化 WG　使用検討に関する最終報告
・機能要件定義最終報告（2020 年に実装する機能の最終報告）
依頼、回答に関わる提供・回答項目について

原産性判定調査時の項目について
部工会統一フォーマットの改訂について
・稼働までのスケジュール案（変更版）
・その他
検認セミナーについて等

第 6 回 WG

新型コロナウイルス感染症拡大防止の一環として、第 6 回 WG は中止。
資料のみ WG メンバーで共有。

議題：① WG 副リーダーの設置について
・副リーダー設置の背景、目的、役割
・副リーダーの選出
② 業界標準システム　進捗状況
・1 月 24 日　効率化 WG での進捗
③ 次回 WG 日程について
④ 普及活動について
・普及活動の全体像
・各回の幹事会社の決定
・周知する素材業界について
・今後の進め方
⑤ 自工会・部工会と日本商工会議所との会合結果について
・1 月までに日商と合意した内容
・今後の進め方
⑥ その他
・英語版サプライヤ証明書について
・今後の国際物流 WG　開催スケジュールについて
・国際海上輸出コンテナ総重量の確定制度の徹底依頼

(3) 知的財産権部会

①一般会員向け知財情報発信（知財人材育成支援活動）
・知財・技術経営講座開設
本年度も知財・技術経営講座を開設。本年度は入門編・契約編・技術流出防止編の 3 コースを設置、東京と名古屋で合計 6 回開催した。参加者は 2 都市合計 141 名が参加し、受講者による満足度（4 段階評価で上位 2 項目の割合）は、入門編が 89.5%、契約編及び技術流出防止編がともに 100%と高い評価を得た。

②特許研究

・知財戦略研究

関連分野の専門家、有識者、弁護士・弁理士等を知財権部会に招聘し、企業の知財戦略に関する勉強会を実施した。上期は「知財業務における RPA 化（ロボット利用による業務自動化）について」をテーマとして東芝デジタルソリューションズ㈱高橋氏を講師に招き講演会を実施した。下期は「知財交渉術と PT（特許）トロール対応」「フィリピンにおける模倣品対策について」を取り上げ、それぞれクイン・エマニュエル外国法律弁護士事務所、弁護士法人キャストから講師を招き、講演会を開催した。

・特定テーマ研究

会員企業の知財関連部署の若手社員が、例えば特許化共同開発等の際に求められる交渉力を身に着けるための講座の企画を立案。令和 2 年 3 月 13 日に東京富士大学経営学部長　隅田教授を講師とした講演会を開催予定であったが、新型コロナの影響により延期した。

③模倣品対策

・海外展示会での反模倣品啓発活動

下期（令和元年 12 月 3 日～6 日）開催のオートメカニカ上海に、会員 10 社+1 団体（日本ベアリング工業会）が出展。参加者・団体のプレゼン、模倣品購入に関する実態調査アンケート（2100 名分回収）等を実施。更に、11 月 22 日～12 月 1 日に行われた広州モーターショーへも現地 IPG（知的財産に関する日系企業の情報交換ｸﾞﾙｰﾌﾟ）、自工会との共同出展し、オートメカニカ上海と同数のアンケートを回収した。

・対中国税関への真贋判定セミナーの開催

WG でのアンケート結果に基づき、本年度は中国税関に訪問先を絞り税関職員を対象とした真贋判定セミナーを開催することを決定。11 月 7 日、8 日に会員 6 社にて、広州市の黄埔税関を訪問し、知財担当官に対し 1 社 15 分の真贋判定のプレゼンを行った。参加企業からは、各社製品に関する真贋判定につき担当官と実質的なやり取りができ効果的であったとの評価を得た。

・フィリピンでの模倣品流通調査

平成 28 年度からタイ、インドネシア、ベトナムで調査を実施した。本年度はフィリピンで行った。7 社から調査希望があり 9 月より調査を開始。1 次調査では市中の模倣品を確認し、下期に模倣品が確認された 2 社の製品に関し 2 次調査を実施、最終報告は令和 2 年 2 月の部会で実施した。令和 2 年度はマレーシアで調査を実施する予定。

第 1 回部会

日時：令和元年 6 月 7 日（金）14：10～15：40

場所：くるまプラザ　第 4・第 5 会議室

議題：①　部会長挨拶、新部会メンバー紹介

②　関係省庁からの報告

令和元年度経済産業省模倣品対策室事業（経産省模倣品対策室）

特許庁の対 ASEAN 政策について（特許庁）

③　令和元年度知的財産権部会活動について

事業検討 WG（特許）検討事項報告

模倣品対策 WG 検討事項報告

第 2 回部会

日時：令和元年 8 月 23 日（金）13：15～16：15

場所：自動車部品会館　601 会議室

議題：①　講演会

「知財業務への RPA 導入について」

講師：東芝デジタルソリューションズ㈱

②　関係省庁の報告

令和元年度版模倣品・海賊版対策の相談業務（経産省模対室）

特許・意匠制度の見直しについて（特許庁）

③　令和元年度の知財権部会活動

事業検討 WG 報告

模倣品対策 WG 報告

第 3 回部会

日時：令和元年 12 月 10 日（火）13：30～16：25

場所：自動車部品会館　6 階６０１会議室

議題：①講演会「交渉術とトロール対応」

講師　クイン・エマニュエル外国法事務弁護士事務所東京オフィス代表/パートナー　ライアン・ゴールドスティン弁護士

②関係省庁からの報告

模倣品対策事業（経済産業省）

特許庁の施策紹介（特許庁）

③令和元年度知財権部会 WG 活動報告

事業検討 WG 報告

模倣品対策 WG 報告

第 4 回部会

日時：令和 2 年 2 月 21 日（金）13：00～15：40

場所：自動車部品会館　601 会議室

議第　①関係省庁からの報告
令和元年度模倣品対策室事業（経産省模対室）
経営における知財戦略（特許庁）
②令和元年度知財権部会 WG 活動報告
事業検討 WG 報告
模倣品対策活動 WG 報告
③講演会「フィリピン模倣品流通調査報告会」
講師：弁護士法人キャストパートナー　島田 敏史 弁護士

（4）知的財産権部会 WG 会合

上記部会活動内容検討のため、上期は、事業検討 WG、模倣品対策 WG の両方を、4 月 19 日、6 月 7 日、7 月 5 日、8 月 23 日、9 月 13 日に開催した。下期は、事業検討 WG を 12 月 10 日、1 月 17 日、2 月 21 日に、模倣品対策 WG を 10 月 25 日、1 月 17 日、2 月 21 日に実施した。

また、知財関連業務の RPA 導入にかかる対応を取り纏めるため RPA・WG を新たに立上げ、10 月 25 日、11 月 22 日、1 月 17 日にそれぞれ実施した。

4. 国際交流の推進

日米欧三極自動車部品会議及び七極（G7）会合の開催

（1）令和元年横浜会合

・令和元年 5 月に横浜で行われた「人とくるまのテクノロジー展」と時期を合わせ、部工会がホストとなって横浜で、日米欧三極自動車部品会議及び G7（日米欧加墨伯印）会合を開催した。

・三極会合においては、G7 会合との関係から、今後の会合のあり方を議論。結論として、両会合は双方継続を決定した。但し、三極会合では、テーマをより細分化したものに絞る（技術系等に）ことで一致した。

・G7 会合では、米国通商政策の影響や電動化に伴う業界の動きが議論の中心となった。議論の要旨は英文ステートメントとしてホームページで公開した。

（2）令和 2 年ニューデリー会合

・令和 2 年 2 月にニューデリーにおいて、AUTOEXPO2020 に時期を併せて G7 会合が開催された。

・G7 会合では、各国自動車・同部品業界の動向、貿易と技術における Disruption（破壊）などを主なテーマとして議論した。

・次回 G7 会合は、令和 3 年にメキシコで同国部工会がホストとして開催される予定。

5. その他（各国政府関係者等との意見交換）

米国セントローレンス川流域共同振興公社との意見交換（5/14）

中国山東省日商市経済開発区との意見交換（7/8）

ポルトガル投資庁　表敬訪問（7/9）
スロバキア投資庁　表敬訪問（7/31）
メキシコ・ハリスコ州経済局長との意見交換（9/25）
中国自工会（CAAM）との意見交換（11/1）

6. 部工会北米代表の活動

①情報収集と会員企業への提供

北米自動車・自動車部品産業に関連する情報を収集し、会員企業へ提供。北米通商問題に焦点を当てたレポートを、毎月 1 回程度国際委員と FTA・通商部会メンバーへ配信。米国の中国に対する追加関税の動向、GM - UAW の労使協約交渉、その後の UAW ストライキの影響、USMCA の各国批准に向けた動き、米通商交渉の動向などの通商動向について適宜、会員企業へ情報展開した。また令和 2（2020）年に入ると、新型コロナウイルス感染症に関連する米国内の動向、在米会員企業活動への影響等に関する情報配信を行った。

また 5 月には、日米欧三極自動車部品会議及び G7 会合参加し、部工会本部とともに各国部工会とのコミュニケーション強化を図った。

②部工会会員の現地化支援

現地会員の円滑な事業展開に資する支援や、現地に拠点を持たない中小企業会員の進出支援を実施。

③現地業界ネットワークの維持

・米国ワシントンで 6 月に開催されたセレクト USA 投資サミットに参加。現地にてネットワーキングを行った。
・8 月にデトロイト日本商工会議所（JBSD）、JETRO と共催で、移民法セミナーを開催し 72 名の参加を得た他、JBSD 常任委員会やメキシコ商工会等、現地政府･業界関係者との会合に積極的に参加し、ネットワークの強化に努めた。
・10 月には、部工会会員を対象としたセミナーで講師となり、北米の自動車市場動向等の説明を行った。また令和 2（2020）年 1 月には、JETRO 宇都宮及び岡山にて講師として招聘され、JAPIA 北米代表として、北米の自動車産業の動向を解説した他、FTA・通商部会の勉強会の講師として、北米での CASE の動向や自動車生産・販売動向について詳しく解説し、部会メンバーと活発な意見交換を行った。

（1）情報収集と会員への提供

①現地情報の提供

通商関連レポート 7 件、在米会員向けレポート 51 件、ニュースクリッ 52 件、北米事務所だより（「JAPIA NEWS」（季刊）に毎号掲載）、ウェブサイト更新など

②来訪者の受入れ

在米会員企業 20 社、米国内企業 26 社、日本からの来訪 10 社（会員他）

③セミナー開催

経産省米州課　浦上課長と在米会員との懇談会（12/11）

IofT セミナー（4/26）、物流コスト管理（7/26）、移民法セミナー（JBSD・JETRO 共催)(8/30)、アルゼンチン中小サプライヤー商工会との懇親会主催(9/25)、経済・自動車セミナー（11/12）

(2) 部工会会員の現地化支援業務

現地政府・関係者との懇談 5 回、米国商務省主催　Select USA Summit 投資誘致イベントに参加（6/10）、既進出会員に対する現地化や北米での新たな機能の追加等に関する相談業務 4 社

(3) 現地業界ネットワークの維持、米国政府関係機関・業界団体との会合

OESA（米国部工会）年次カンファレンス参加（11/13）
テネシー州経済開発局との意見交換（4/10）
インディアナ州北東部経済開発局との意見交換（4/17）
オハイオ州 Bouling Green 大学日米懇親会参加（5/8）
ケンタッキー州日本事務所との意見交換（12/10）
在米メキシコ総領事との懇談（9/6、11/20）
在米カナダ総領事との懇談（9/22）
カナダ Cascadden 商務官との懇談（11/8）
デトロイト総領事館との懇談（5/17、9/17、10/18、11/20、12/16）
JBSD 商工部会への出席（4/24、7/24、11/14、1/8）
JBSD 常任委員会への出席（5/14、7/31、10/2、11/26、1/14）
JBSD 年次総会への出席（1/26）
中川総領事デトロイト市視察同行（9/1）

Ⅴ．総合技術委員会関係

1．総合技術委員会関係

環境問題、IT（電子情報化）、基準・認証への対応に加え、CASE など産業構造の大変革に備え、新技術対応・人材育成・新規事業の検討に取り組んだ。

・環境問題への対応

第８次環境自主行動計画（2016-2020 年）の各項目について順調に低減している。特に CO2 排出量については前倒しして目標値を達成した。化学物質調査ツールとして活用されてきた JAMA／JAPIA 統一シートを JAPIA シートへ移行する準備を終えた。また、環境情報誌第 5 号、6 号をホームページに掲載し広く活動状況を展開した。

・IT(電子情報化)への対応

サイバーセキュリティ部会を新設。自動車業界のセキュリティレベル向上を目的に、自工会と連携してガイドラインの作成に取り組んだ。

・基準・認証への対応

大幅に改定のあった中国 CCC 認証制度に関連して、ミッション派遣や中国認証機関のセミナーを通して情報を入手するとともに、業界としての対応について検討を行った。

・新技術対応、人材育成、新規事業の検討

品目別専門技術部会に J-Auto-ISAC 連携部会を新設、また役割を終えた３部会を解散した。将来の部品業界を担う人材育成として、モビリティ将来技術研究会を運営した。また次年度の新規事業として、産学協力事業の準備を行なった。

（1）総合技術委員会

開催日：令和元年 6 月 28 日（金）、11 月 15 日（金）
　　令和 2 年 3 月 3 日（火）（書面報告）

場　所：自動車部品会館

議　題：①　環境問題への対応について
　　ⅰ　環境対応委員会の活動
　　ⅱ　生産環境部会の活動
　　ⅲ　製品環境部会の活動
　　②　IT(電子情報化)への対応について
　　ⅰ　IT 対応委員会の活動
　　ⅱ　EDI 部会の活動
　　ⅲ　DE 促進部会の活動
　　ⅳ　サイバーセキュリティ部会の活動

③　基準・認証への対応について
ⅰ　基準認証部会の活動
ⅱ　自動運転基準検討部会の活動
④　ITS 部会の活動
⑤　幹事会の活動

(2) 総合技術委員会幹事会
開催日：平成 31 年 4 月 22 日（月）、令和元年 5 月 29 日（水）
6 月 17 日（月）、7 月 22 日（月）、9 月 5 日（木）、
10 月 16 日(水)、11 月 8 日（金）、12 月 10 日(火)、
令和 2 年 2 月 7 日(金)、3 月 17 日(火)（開催中止）
場　所：自動車部品会館
議　題：CASE など産業構造の大変革に備えた新技術対応・体制の検討、
専門技術部会の活性化、モビリティ将来技術研究会の
運営及び新規事業の検討（産学協力事業）など。

(3) 自動運転基準検討部会
開催日：平成 31 年 4 月 5 日（金）、令和元年 8 月 23 日(金)、
令和 2 年 3 月 26 日(木)（開催中止）
場　所：自動車部品会館
議　題：JASIC 自動運転基準化研究所会議報告、JASIC 派遣委員選出

(4) ITS 部会・幹事会
開催日：令和元年 6 月 14 日（金）、9 月 13 日（金）、12 月 17 日（火）、
令和 2 年 2 月 17 日（月）
場　所：自動車部品会館
議　題：①　ITS 世界会議シンガポール 2019 の対応について
②　令和元年度の活動について

(5) SIP-adus 報告会（開催中止）
開催日：令和 2 年 3 月 24 日（火）
場　所：自動車部品会館

2. 環境対応委員会関係

・製品環境部会
製品含有化学物質の化学物質調査ツールは、次年度以降 JAMA／JAPIA 統

一シートをJAPIAシートとして継続させるため、同シートを継続利用する日本建設機械工業会（建機工）、日本産業車両協会（産車協）、日本農業機械工業会（日農工）を加えた運営体制を整え、準備を完了した。

・生産環境部会

「第8次環境自主行動計画」（2016～2020年度）を推進しており、産業廃棄物量及びVOC排出量については、2020年度目標に向けて削減中。

また、CO2排出量については前倒しで目標を達成している。

「第9次環境自主行動計画」（2021～2025年度）の企画、立案において、次年度からの策定活動への調査として、環境対応委員会委員に対するアンケートを実施、並びに廃プラなどの社会要請への対応検討に着手した。

（1）環境対応委員会

開催日：令和元年6月19日（水）令和2年2月6日（木）

場　所：自動車部品会館

議　題：各部会の活動状況報告

① 環境対応委員会

② 製品環境部会

③ 生産環境部会

④ LCA分科会

（2）環境対応委員会幹事会

開催日：令和元年6月11日（水）令和2年1月23日（木）

場　所：刈谷市産業振興センター

議　題：各部会の活動状況報告と委員会審議事項

① 環境対応委員会

② 製品環境部会

③ 生産環境部会

④ LCA分科会

（3）環境対応委員会製品環境部会・幹事会・関連分科会

開　催：部会；平成31年4月23日（火）ほか　全11回開催

幹事会；平成31年4月16日（火）ほか　全11回開催

関連分科会、勉強会；平成31年4月9日（火）ほか　全52回開催

場　所：自動車部品会館、AP品川等

議　題：① JAMA/JAPIA統一データシートの改善

② REACH-TF、GASG 会議等国際会議への参加
③ 新たな規制物質の影響精査活動（継続）
④ Supplier Alliance を活用した情報収集・渉外体制強化
⑤ 中国 CATARC との連携し、中国製品環境規制の情報収集
⑥ 欧州 ELV 除外規定見直しに対する技術渉外活動
⑦ 製品含有化学物質規制に関する勉強会

（4）環境対応委員会生産環境部会・関連分科会
開　催：部会；令和元年 6 月 11 日（火）ほか　全3回開催
関連分科会、セミナー；平成31年4月3日（水）ほか　全38回開催
場　所：自動車部品会館、刈谷市産業振興センター　等
議　題：① 第 8 次環境自主行動計画の推進
② CO2 排出削減等目標管理型への移行検討
③ 工場用化学物質の入口管理、出口管理の強化検討
④ グローバルでの工場用副資材の化学物質規制強化への対応
⑤ 廃棄物、水資源の把握と削減活動の検討
⑥ 部工会 LCA 統合ツールの検討

（5）自工会製品含有化学物質管理部会、個別物質分科会、物質リスト検討分科会、ELV 指令規制物質分科会、データシステム展開分科会
出　席：平成 31 年 4 月 18 日（木）ほか　全19回出席
場　所：自工会
議　題：① 化学物質規制対応課題の共有・意見交換
② 欧州 ELV 除外規定見直し対応（渉外活動）
③ 関連業界との情報交換ならびに意見交換

3. IT 対応委員会関係

幹事会より、IT 対応委員会のもとにサイバーセキュリティ部会の新設提案があり、準備着手することを承認した。
・サイバーセキュリティ部会は、8 月に部会を新設し活動を開始し、自工会と協業して「サプライチェーンにおける業界標準ガイドラインドラフト版」策定した。
・EDI 部会では前年から継続して、自工会との協調連携活動を行った。
・DE 促進部会では部品業界全体の底上げにつながる取組みとして、DE 及び DX の活用セミナー、IoT/AI に関するセミナーなどの活動を行った。

(1) IT 対応委員会

全体事業の推進状況の報告および課題解決、指針等を審議した。

開催日：令和元年 6 月 20 日（水）、11 月 6 日（水）、
令和 2 年 2 月 20 日（木）

場　所：自動車部品会館

議　題：① DE 促進部会の活動について
② EDI 部会の活動について
③ JNX の活動について
④ サイバーセキュリティ部会の新設について

(2) IT 対応委員会幹事会

開催日：令和元年 6 月 5 日（水）、10 月 23 日（水）、
令和 2 年 2 月 4 日（火）

場　所：自動車部品会館

議　題：① IT 対応委員会の対応について
② 自工会活動の対応について
③ 先端 IT 勉強会の対応について
④ サイバーセキュリティ部会の新設について

(3) 自工会との合同幹事会

開催日：平成 31 年 4 月 5 日（金）、令和元年 5 月 28 日（火）
9 月 24 日（火）、令和 2 年 1 月 21 日（火）

場　所：自動車会館、自動車技術会館

議　題：自工会、部工会活動内容の共有について

(4) サイバーセキュリティ部会

開催日：令和元年 8 月 2 日（金）、9 月 12 日（木）、10 月 11 日（金）、
11 月 22 日（金）、令和 2 年 2 月 14 日（金）

場　所：自動車部品会館

議　題：① 発足の経緯について
② 令和元年度事業計画について
③ サプライチェーンにおける業界標準ガイドラインドラフト版策定

(5) EDI 部会

開催日：令和元年 6 月 5 日（水）、10 月 9 日（水）、
令和 2 年 2 月 10 日（月）

場　所：自動車部品会館
課　題：①　令和元年度事業計画について
②　自工会との協業 WG 活動について
③　自工会と JAIF Leadership 会議への派遣について

(6) DE 促進部会・幹事会
幹事会を午前、部会を午後から開催した。
開催日：平成 31 年 4 月 19 日（金）、令和元年 5 月 24 日（金）
6 月 21 日（金）、7 月 19 日（金）、9 月 20 日（金）、
10 月 25 日（金）、12 月 20 日（金）、
令和 2 年 1 月 24 日（金）、2 月 28 日（金）
場　所：自動車部品会館、㈱デンソー
課　題：①　自工会デジタルエンジニアリング部会の情報展開について
②　技術情報のデータ授受の問題対策について
③　システム維持の最適化について
④　3D データ活用展開上の問題対策のについて
⑤　部工会会員会社への情報共有について
⑥　3 大 CAD ベンダーにより講演会の企画について

(7) DE 促進部会/NX 研究会、CATIA 研究会
開催日：令和元年 5 月 23 日、 7 月 18 日（木）、10 月 24 日（木）、
11 月 15 日（金）令和 2 年 1 月 23 日（木）、2 月 27 日（木）
場　所：自動車部品会館、㈱デンソー、㈱アルゴグラフィックス、
兼松エレクトロニクス㈱
議　題：①　NX、CATIA の情報交換について
②　NX、CATIA の実機検証について

(8) DE 促進部会講演会：「自動車メーカとサプライヤの協業のための DE 及び DX 活用について」
開催日：令和元年 11 月 27 日（木）、12 月 5 日（木）、12 月 6 日（金）
場　所：自動車部品会館、広島、名古屋
参加者：75 名

(9) DE 促進部会講演会：「IoT/AI の最新動向と活用事例紹介」
開催日：令和 2 年 2 月 25 日（火）
場　所：自動車部品会館

参加者：21 名

（10）自工会デジタルエンジニアリング部会への参画

部工会正副部会長等の自工会デジタルエンジニアリング部会へ参画により、自工会事業への部工会意見反映及び情報共有

開催日：平成 31 年 4 月 25 日（木）、令和元年 5 月 30 日（木）
6 月 27 日（木）、7 月 25 日（木）、8 月 30 日（金）、
9 月 26 日（木）、10 月 31 日（木）、11 月 22 日（金）、
12 月 12 日（木）、令和 2 年 1 月 17 日（金）、2 月 4 日（火）

場　所：自動車会館、三菱自動車

議　題：①　活動状況の共有について
②　意見交換

4. 基準認証部会関係

中国、インド、ASEAN に関する基準・認証制度への対応をより向上するため、WG を分科会に格上げし、分科会長がそれぞれ牽引する体制とした。各分科会では、各国の情報収集とミッション派遣を実施した。

・インド分科会：6 月にミッションを実施し、インド認証機関、関係団体からインドの最新法規認証情報を収集した。
・中国分科会：9 月に襄陽、上海の試験機関を訪問し、大幅改定された CCC 認証関係の最新情報を入手した。また国内で中国認証機関等実施の CCC 認証改定説明会に協力し、会員への参加を促した。
・ASEAN 分科会：12 月に JASIC･マレーシア運輸当局主催のアジア官民フォーラムにおいて、部品業界の立場から基準調和の重要性についてプレゼンテーションを行った。2 月にはミッションでベトナム、タイ、インドネシアを訪問し、ASEAN 内の基準調和活動の最新動向を現地政府関係、業界団体から情報収集した。

（1）基準認証部会

開催日：平成 31 年 4 月 17 日（水）、令和元年 6 月 26 日（水）
8 月 7 日（水）、10 月 4 日(金)、12 月 18 日(水)、
令和 2 年 3 月 4 日(水)（開催中止）

場　所：自動車部品会館、大阪野村不動産ビル

議　題：①　令和元年度活動計画案
②　インド分科会報告

③　中国分科会報告
④　ASEAN 分科会報告
⑤　各 WG 報告
⑥　JASIC 関連報告（国際車両相互承認に向けての活動
UN/ECE/WP29・各 GR 審議状況　等）
⑦　国内法規動向について

(2) 中国分科会
開催日：平成 31 年 4 月 10 日（水）、令和元年 5 月 16 日（木）
7 月 18 日（木）、8 月 29 日(木)、11 月 6 日(水)、11 月 27 日(水)
令和 2 年 2 月 4 日(火)、2 月 26 日(水)
場　所：自動車部品会館
議　題：①中国ミッション計画について
②中国認証試験所日本事務所との情報交換
③9 月実施中国ミッション報告

(3) インド分科会
開催日：令和元年 5 月 15 日（水）、6 月 25 日（火）、7 月 17 日（水）
12 月 17 日(火)、令和 2 年 2 月 7 日(金)
場　所：自動車部品会館
議　題：①インドミッション計画
②インドミッション質問事項取りまとめ
③インドミッション報告

(4) ASEAN 分科会
開催日：令和元年 5 月 16 日（木）、 7 月 30 日（火）、9 月 19 日（木）
10 月 24 日(木)、11 月 27 日(水)、令和 2 年 2 月 5 日(水)
場　所：自動車部品会館
議　題：①ASEAN ミッション計画と準備大日程について
②ASEAN MRA 情報収集
③JASIC 官民フォーラムへの対応

(5) インドミッション
開催日：令和元年 6 月 9 日（日）～6 月 14 日（金）
場　所：試験機関・iCAT Manesar　ARAI Pune
関係団体・ACMA（インド部工会）Delhi

議　題：①インドの基準・認証制度の情報収集
②ACMA との関係情報交換

(6) 中国ミッション
開催日：令和元年 9 月 22 日（日）～9 月 26 日（木）
令和 2 年 3 月 23 日(月)～3 月 27 日(金)（中止）
場　所：上海国家機動車監督検験中心（認証試験所）SMVIC
国家汽車質量監督検験中心（認証試験所）NAST
中国品質認証センター（認証機関）CQC（中止）
中国自動車認証センター（認証機関）CCAP（中止）
中国汽車技術研究センター（認証試験所）CATARC（中止）
議　題：中国認証制度と試験所に関する情報収集

(7) ASEAN ミッション
開催日：令和 2 年 2 月 13 日（木）～2 月 22 日（土）
場　所：ベトナム：運輸省(VR)、自工会（VAMA)
タイ：産業省(TISI)、運輸省(DLT)、部工会(TAPMA)、自工会(TAIA)
インドネシア：運輸省(DGLT)、産業省(MOI)、部工会（GIAMM)、
自工会(GAIKINDO)
議　題：ASEAN の基準認証制度に関する情報収集

5. 品目別専門技術部会関係
(1) 安全装置部会
①安全装置部会春季合同会議
開催日：令和元年 7 月 1 日（月）
場　所：自動車部品会館
議　題：ⅰ　平成 30 年度部会・分科会の活動報告について
ⅱ　令和元年度部会・分科委員会の活動計画について
ⅲ　令和元年度部会・分科会の予算について
ⅳ　GRSP 国際会議等 JASIC 関連報
ⅴ　今後の PR 活動について

②安全装置部会秋季合同会議
開催日：令和元年 11 月 28 日(木)
場　所：東横 INN 金沢会議室
議　題：ⅰ　令和元年度部会・分科会の中間活動報告について

ⅱ　令和元年度部会・分科会の予算執行状況について
ⅲ　GRSP 国際会議等 JASIC 関連報
ⅳ　今後の PR 活動について

③安全装置部会幹事会
開催日：令和元年 6 月 6 日（木）、11 月 7 日(木)
場　所：自動車部品会館
議　題：ⅰ　令和元年度部会及び各分科会の活動計画について
ⅱ　部会・分科会合同会議開催計画について
ⅲ　部会・分科会からの外部会議への委員派遣について
ⅳ　今後の部会での PR 活動について

④安全装置部会 PR－WG
開催日：平成 31 年 4 月 16 日（火）、令和元年 7 月 19 日(金)、
令和 2 年 3 月 19 日(木)
場　所：自動車部品会館
議　題：ⅰ　交通科学学会総会での展示内容について
ⅱ　自動車会議所イベント出展について
ⅲ　部工会として R129 と R44 との違いの統一見解作成
ⅳ　チャイルドシート出荷量動向調査実施について

⑤安全装置部会 NCAP－WG
開催日：令和元年 5 月 17 日（金）、5 月 29 日（水）
場　所：自動車部品会館
議　題：ダミーメーカーとの情報交換

⑥エアバッグ分科会
開催日：令和元年 5 月 13 日（月）、8 月 30 日（金）（CE-WG）
11 月 26 日(火)　（CE-WG）
場　所：自動車部品会館、エイムアテイン博多駅前会議室
議　題：ⅰ　2013/29/EU の CE 未認可品製品表示義務について
ⅱ　BAM とのミーティング

⑦シートベルト分科会
開催日：令和元年 5 月 22 日（水）、8 月 29 日（木）（幹事会）、
11 月 8 日(金)　（幹事会）、2 月 4 日(火)　（幹事会）

場　所：自動車部品会館
議　題：ⅰ　中国ミッション計画
ⅱ　幼児専用車 WG 進捗状況報告
ⅲ　中国認証制度改定への対応

⑧チャイルドシート分科会
開催日：平成 31 年 4 月 16 日（火）、令和元年 6 月 27 日（木）
9 月 20 日(金)、令和 2 年 1 月 16 日(木)
場　所：自動車部品会館
議　題：ⅰ　CRS 新法規への今後の対応について
ⅱ　GRSP 報告と対応について
ⅲ　R44 と R129 の違い関する統一見解について

⑨予防安全装置分科会
開催日：令和元年 5 月 17 日(金)、10 月 8 日(火)、
令和 2 年 2 月 28 日(金)（開催中止）
場　所：自動車部品会館
議　題：ⅰ　J-NCAP アセスメント評価検討会報告
ⅱ　JASIC　AEB 国内対応会議について
ⅲ　JASIC　VRU-proxi 国内対応会議報告

(2) シート部会
①シート部会合同会議及び見学会
開催日：令和元年 7 月 5 日（金）～ 7 月 6 日（土）
場　所：広島県広島市、呉市
議　題：ⅰ　平成 30 年度部会・分科会活動報告について
ⅱ　令和元年度部会・分科会活動計画・予算案について
ⅲ　第 20 回シート技術研究発表会開催計画
見学会：独立行政法人造幣局広島支局、呉市海事歴史科学館

②シート部会
開催日：平成 31 年 4 月 24 日（水）、令和元年 9 月 6 日（金）、
12 月 11 日(水)、令和 2 年 2 月 25 日(火)
場　所：自動車部品会館
議　題：ⅰ　令和元年度部会活動計画案
ⅱ　令和元年度部会合同会議開催計画

ⅲ　第 20 回シート技術研究発表会開催準備について

③クッション性分科会

開催日：平成 31 年 4 月 18 日（木）、令和元年 8 月 30 日（金）
11 月 20 日(水)、令和 2 年 2 月 28 日(金)（開催中止）

場　所：自動車部品会館、金沢工業大学

議　題：ⅰ　金沢工業大学研究室との情報交換
ⅱ　第 20 回シート技術研究発表会開催準備について

④シート技術研究発表会

開催日：令和元年 10 月 25 日(金)

場　所：JA 共済ビル

内　容：発表者 6 名　シート技術に関する研究発表
参加者 180 名

(3) オイルシール技術部会

開催日：令和元年 5 月 30 日（木）、10 月 1 日(火)、11 月 21 日(木)

場　所：自動車部品会館

議　題：①　見学会企画について
②　JIS-ISO 整合化作業について
③　ISO ドラフトの意見作成
④　ISO 会議報告

(4) 電線部会

開催日：平成 31 年 4 月 11 日（木）、令和元年 5 月 10 日（金）
6 月 7 日（金）、7 月 11 日（木）、9 月 26 日（木）、
10 月 10 日（木）、11 月 28 日（木）、12 月 19 日（木）、
令和 2 年 2 月 18 日（火）、3 月 12 日（木）Web 会議

場　所：自動車部品会館

課　題：①　令和元年度の活動計画について
②　令和元年度の予算について
③　2018-2019 年度標準化調査内容検討について
④　ISO／TC22／SC3／WG4 国際会議対応について

(5) ランプ部会

開催日：令和元年 5 月 29 日（水）、6 月 21 日（金）、8 月 2 日(金)

11 月 12 日（火）、12 月 6 日（金）、
令和 2 年 3 月 13 日（金）（開催中止）
場　所：自動車部品会館
課　題：①　令和元年度の活動計画について
②　GTB 国際会議対応について
③　基準認証対応について

(6) 摩擦材技術部会
開催日：令和元年 5 月 21 日（火）、7 月 24 日（水）、10 月 11 日（金）
12 月 6 日（金）、令和 2 年 2 月 28 日（金）電話会議
場　所：自動車部品会館
議　題：①　ISO 国際会議、Euro Brake 対応について
②　自技会ライニング分科会対応について
③　環境関連情報（銅、摩耗粉）について

(7) 車輪技術部会
車輪技術部会及びタイヤ・リム合同会議
開催日：平成 31 年 4 月 12 日（金）、令和元年 5 月 20 日（月）、
6 月 24 日（月）、7 月 22 日（月）、8 月 26 日（月）、9 月 30 日（金）
10 月 28 日（月）、11 月 18 日（月）、12 月 16 日（月）
令和 2 年 1 月 20 日（月）、2 月 17 日（月）、
3 月 24 日(火)（開催中止）
場　所：自動車部品会館
議　題：①　令和元年度活動計画について
②　ISO/TC31 のリム関係の対応について
③　JATMA YEAR BOOK のリム関係の改正案作成について
④　自技会関連（ホイール分科会）について
⑤　日本自動車タイヤ協会との合同会議
⑥　各国部品認証対応について
⑦　ISO 定期見直し検討

(8) 濾器技術部会
開催日：令和元年 6 月 7 日（金）、8 月 7 日（水）10 月 25 日（金）
令和 2 年 3 月 6 日（金）（開催中止）
場　所：自動車部品会館
議　題：①令和元年度活動計画について

②ISO/TC70 関係対応の審議について
③自技会フィルタ分科会対応について

(9) ブレーキホース部会
開催日：令和元年 5 月 27 日（月）、7 月 29 日（月）、
令和 2 年 1 月 28 日(火)、3 月 6 日(金)（開催中止）
場　所：自動車部品会館
議　題：①　令和元年度活動計画について
②　中国ミッション計画について
③　中国 CCC 工場監査について

(10) パワートレイン熱交換器部会
開催日：令和元年 5 月 31 日（木）、8 月 3 日（金）
場　所：自動車部品会館
議　題：EGR クーラ放熱量試験方法の ISO 規格化について

(11) 後退警報器部会
開催日：令和元年 8 月 21 日（水）10 月 4 日（金）、11 月 8 日（金）
場　所：自動車部品会館
課　題：後退警報器の新 ECE 規則対応について

(12) 操舵系技術部会・センサー類技術部会
開催日：平成 31 年 4 月 5 日（金）、令和元年 8 月 23 日(金)
令和 2 年 3 月 26 日(木)（開催中止）
場　所：自動車部品会館
議　題：ACSF･ITS/AD 会議の状況について

(13) EMC 部会
開催日：平成 31 年 4 月 19 日（金）、令和 2 年 1 月 17 日（金）
場　所：自動車部品会館
議　題：UN／GRE／TF-EMC 対応について

(14) 排ガス・燃費技術部会
開催日：令和元年 6 月 17 日（月）
場　所：自動車部品会館
議　題：JASIC　排ガス分科会対応について

（15）J-Auto-ISAC 連携部会

開催日：令和元年 7 月 2 日（火）、8 月 8 日（木）、9 月 4 日（火）、
10 月 10 日（木）、11 月 21 日（木）、2 月 13 日（木）

場　所：自動車部品会館

議　題：①部会運営について
②自工会 J-Auto-ISAC WG との連携について

（16）警音器部会

開催日：令和元年 10 月 30 日（水）、12 月 10 日（火）
令和 2 年 1 月 13 日（月）、2 月 6 日（木）

場　所：自動車部品会館

議　題：①WP29 GRBP への対応について

6. モビリティ将来技術研究会

開催日：平成 31 年 4 月 12 日（金）

場　所：自動車部品会館

講　演：電動化パワートレーンシステムの今後（トヨタ　岸氏）

開催日：令和元年 5 月 10 日（金）

場　所：日産自動車㈱

講　演：次の 100 年に向けたパワートレイン開発の挑戦（日産　平井氏）

開催日：令和元年 6 月 14 日（金）

場　所：自動車部品会館

講　演：蓄電池の全固体化を目指して（東工大　菅野氏）

開催日：令和元年 7 月 12 日（金）

場　所：日本自動車研究所

見　学：自動運転評価技術を含む業界向け試験設備

開催日：令和元年　9 月 27 日（金）

場　所：本田技術研究所㈱

講　演：未来のモビリティ社会の姿（ホンダ　三部氏）

開催日：令和元年 10 月 31 日（木）
場　所：自動車部品会館
講　演：高度運転支援・自動運転実現に向けた技術開発
　　～トヨタの取組み・日本政府の取組み～(トヨタ　葛巻氏)

開催日：令和元年 12 月 12 日（木）
場　所：自動車部品会館
講　演：科学技術イノベーション創出に向けた研究開発マネジメント
　　～Society5.0 の実現～（産総研　久間氏）

開催日：令和 2 年 1 月 27 日（月）
場　所：自動車部品会館
講　演：破壊的イノベーションの技術戦略（京大大学院　山口氏）

開催日：令和 2 年 2 月 13 日（木）
場　所：TKP 品川カンファレンスセンター
講　演：圧倒的効果を生み出すオープンイノベーションの事例と実践
　　（リンカーズ　加福氏）

開催日：令和 2 年 3 月 27 日（金）(6 月へ延期)
場　所：自動車部品会館
講　演／ワークショップ：
　　未来を見据えたイノベーション技術企画の創り方
　　～マクロとミクロの視点で～　(MASAMI DESIGN　髙橋氏)

Ⅵ．東日本支部

1．支部活動

（1）会計監査

日　時：平成 31 年 4 月 19 日（金）10：30～10：50

場　所：自動車部品会館　2 階「201 会議室」

監査人：武藤監事、三浦監事

実施事項：平成 30 年度決算監査

（2）第 1 回運営委員会

日　時：令和元年 5 月 23 日（木）　12：15～12：45

場　所：経団連会館　5 階「503 号室」

出席者：28 名（委任状 10 社）

議　題：① 平成 30 年度東日本支部事業報告及び収支決算について

② 東日本支部推薦の理事辞任に伴う補充推薦候補者の選任について

（3）通常年次会

日　時：令和元年 5 月 23 日（木）　13：00～13：45

場　所：経団連会館　2 階「国際会議場」

出席者：153 名（委任状 94 社）

議　題：① 平成 30 年度事業報告及び決算承認の件

② 令和元年度事業計画及び予算承認の件

③ 東日本支部選出の理事辞任に伴う補充選任

④ 支部長の選任について

（4）第 1 回東日本支部運営委員会社懇親ゴルフ会

日　時：令和元年 5 月 29 日（水）

場　所：小田急藤沢ゴルフクラブ

参加者：9 名

（5）第 2 回東日本支部運営委員会社懇親ゴルフ会

日　時：令和元年 9 月 12 日（木）

場　所：多摩カントリークラブ

参加者：10 名

(6) 第 2 回運営委員会

日　時：令和元年 11 月 21 日（木）　14：00～14：45

場　所：八芳園　3 階「チャット」

出席者：29 社（委任状 9 社）

議　題：① 令和元年度上期事業報告について

② 令和元年度下期事業計画について

③ 中国自動車産業視察報告

(7) 新年懇親会

日　時：令和 2 年 1 月 23 日（木）17：00～18：30

場　所：経団連会館　国際会議場

出席者：66 名

(8) 役員選考会（延期）

日　時：令和 2 年 3 月 18 日（水）　12：00～12：15

場　所：八芳園　4 階「若松」

(9) 第 3 回運営委員会（中止）

日　時：令和 2 年 3 月 18 日（水）　12：00～13：30

場　所：八芳園　5 階「シダー」

2. 企画委員会

(1) 第 1 回企画委員会

日　時：令和元年 6 月 5 日（水）15：30～17：00

場　所：自動車部品会館　7 階「701 会議室」

出席者：17 名

議　題：① 令和元年度通常年次会結果報告

② 令和元年度支部事業計画進捗報告

③ 令和元年度海外視察事業計画

(2) 第 2 回企画委員会

日　時：令和元年 10 月 8 日（火）15：00～17：00

場　所：自動車部品会館　6 階「601 会議室」

出席者：17 名

議　題：① 令和元年度上期事業報告

② 令和元年度下期事業計画

③ 令和 2 年度事業計画（案）

（3）正副企画委員長会議

日　時：令和元年 12 月 12 日（木）15：30～17：00

場　所：自動車部品会館　4 階「401 会議室」

出席者：6 名

議　題：① 令和元年度支部事業評価について

② 事業要望調査の結果報告

③ 令和 2 年度の事業計画について

（4）第 3 回企画委員会

日　時：令和 2 年 2 月 14 日（金）14：00～17：00

場　所：自動車部品会館　6 階「601 会議室」

出席者：12 名

議　題：① 令和元年度東日本支部事業報告

② 令和 2 年度東日本支部事業計画案

③ 令和 2 年度事業計画案件検討

3．講演会

（1）　日　時：令和元年 7 月 11 日（木）13：30～15：30

場　所：TKP 品川カンファレンスセンター　4 階

参加者：23 名

テーマ：ESG 経営を実現させる 3 つの戦略

講　師：デロイトトーマツサステナビリティ㈱

代表取締役社長　達脇　恵子　氏

（2）　日　時：令和元年 7 月 23 日（火）13：30～15：30

場　所：自動車部品会館　6 階「601 会議室」

参加者：49 名

テーマ：自動車産業激変の年～部品メーカーの生き残り策は～

講　師：㈱日本電動化研究所　代表取締役　和田　憲一郎　氏

（3）　日　時：令和元年 8 月 2 日（金）13：30～15：30

場　所：自動車部品会館　6 階「601 会議室」

参加者：24 名

テーマ：コンプライアンス経営の実務

講　師：警察大学校　警察政策研究センター　教授　樋口　晴彦　氏

(4)　日　時：令和元年 9 月 6 日（金）13：30～14：45
場　所：自動車部品会館　6 階「601 会議室」
参加者：56 名
テーマ：『トヨタにおける工場 IoT の活用』
～トヨタが挑んだ「工場 IoT」の成果と課題～
講　師：トヨタ自動車㈱　先進技術開発カンパニー　先進生産技術部
工程改善室　グループ長　杉江　豊 氏

(5)　日　時：令和元年 11 月 21 日（木）13：30～14：45
場　所：八芳園　3 階「チャット」
参加者：78 名
テーマ：モビリティ革命 2030 beyond
～「クルマを造る」から「生活を創る」への大躍進～
講　師：デロイトトーマツコンサルティング合同会社
自動車セクター シニアマネージャー 川本 剛司 氏

(6) 日　時：令和 2 年 2 月 7 日（金）13：30～15：30
場　所：自動車部品会館　6 階「601 会議室」
参加者：30 名
テーマ：1 時間で始める Smart Factory
～小さな投資大きな進化　生産性 IoT 進化論～
講　師：旭鉄工㈱　執行役員　兼
i Smart Technologies㈱　最高執行責任者 COO 黒川 龍二 氏

4. 工場・施設見学会

(1)　日　時：令和元年 7 月 31 日（水）12：45～15：30
場　所：㈱安川電機　入間事業所
参加者：43 名
内　容：安川ソリューションファクトリにて、超自動化ラインを見学

(2)　日　時：令和元年 8 月 23 日（金）13：30～16：00
場　所：㈱深井製作所　本社・大月工場
参加者：32 名
内　容：IT やロボットを活用したものづくりを見学

(3)　日　時：令和元年 10 月 18 日（金）13：30～16：00
場　所：オークマ㈱本社工場
参加者：33 名
内　容：DreamSite1＆2 にて最新のスマートファクトリの取組みを見学

(4)　日　時：令和元年 11 月 8 日（金）13：30～15：00
場　所：日野自動車㈱古河工場
参加者：40 名
内　容：グローバル生産体制を支える同社古河工場の商用車生産ラインを見学

(5)　日　時：令和 2 年 1 月 31 日（金）13：30～16：00
場　所：日立オートモティブシステムズ㈱ 佐和工場
参加者：37 名
内　容：IoT や AGV 等を活用したインジェクタやエアフローセンサの生産現場を見学

(6)　日　時：令和 2 年 2 月 21 日（金）13：30～16：00（中止）
場　所：プライムアース EV エナジー㈱　本社/大森工場

5. 海外視察

(1) 事前勉強会
日　時：令和元年 6 月 18 日（火）13：30～15：30
場　所：自動車部品会館　6 階「601 会議室」
参加者：55 名
テーマ：世界自動車産業の中国電動車戦略
講　師：㈱フォーイン　中国部長　周　錦程　氏

(2) 参加者説明会
日　時：令和元年 8 月 29 日（金）15：30～16：45
場　所：自動車部品会館　7 階「701 会議室」
参加者：12 名

(3) 中国自動車産業視察
日　時：令和元年 9 月 22 日（日）～9 月 27 日（金）
場　所：香港・中国（深セン市、東莞市、広州市）
参加者：14 名

視察先：①比亜迪股份有限公司（BYD）
②東莞京濱汽車電噴装置有限公司（ケーヒン）
③加特可(広州)自動変速箱有限公司（ジヤトコ）
④広州三葉電機有限公司（ミツバ）
⑤広汽本田汽車有限公司増城工場（ホンダ）
⑥康奈可汽車科技(広州)有限公司（カルソニックカンセイ）
⑦東風日産乗用車公司花都工場（ニッサン）

（4）報告会
日　時：令和元年 12 月 18 日（金）16：00～16：50
場　所：自動車部品会館　7 階「701 会議室」
参加者：8 名

6. 自動車部品産業理解促進事業
（専門高校教員産業実地研修／本部総務委員会広報部会との共催）
一般的に十分な理解を得られていない自動車部品産業の認知度向上を図るための事業として（公財）産業教育振興中央会との連携により自動車部品メーカーの見学会を実施。

日　時：令和元年 8 月 1 日（木）10：00～14：30
場　所：㈱ヨロズ栃木
参加者：9 名

7. 中小企業支援事業
＜セミナー・研修等の受講支援＞
中小企業支援を目的に㈱自動車部品会館並びに中央労働災害防止協会と連携を図り、各種セミナー・研修等を割安料金で受講できる事業を実施した。

（1）ISO/IATF 関係セミナー（主催：㈱自動車部品会館）
期　　間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月
対象講座：3 講座
利用実績：21 名
（2）労働安全衛生に関する研修・セミナー（主催：中央労働災害防止協会）
期　　間：平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月
対象研修・セミナー：8 コース
利用実績：なし

Ⅶ. 中日本支部

1. 通常年次会

日　時：令和元年 5 月 16 日（木）17:00～19:30
場　所：ホテルナゴヤキャッスル
議　案：① 平成 30 年度事業報告および決算承認の件
② 令和元年度事業計画および予算承認の件
③ 役員辞任に伴う補充選任の件
出席者：来賓　8名、会員33名、（委任状提出 46 社）
懇談会出席者：48 名　　懇親会出席者：45 名

2. 運営委員会

第 1 回　運営委員会
日　時：平成 31 年 4 月 18 日（木）11:30～13:00
場　所：ヒルトン名古屋
議　案：① 平成 30 年度事業報告案および決算案承認の件
② 令和元年度事業計画案および予算案承認の件
③ 役員辞任に伴う補充選任案の件
出席者：運営委員　21 名（委任状提出社　14 社）

第 2 回　運営委員会・懇親会
日　時：令和元年 12 月 2 日（月）17：30～20：00
場　所：か茂免
議　題：支部事業中間報告および今後の計画について
懇親会出席者：来賓 2 名、運営委員　16 名

3. 支部事業

（1）支部業務監査

日　時：平成 31 年 4 月 15 日（月）10:00～11:30
場　所：中部支部事務所
監査人：奈須野常務理事、総務部　千葉課長
実施事項：① 支部業務監査
② 支部会計監査事前チェック　など

（2）支部会計監査

日　時：平成 31 年 4 月 16 日（火）
場　所：東郷製作所、住友理工　各社

監査人：相羽監事、西村監事
実施事項：平成 30 年度支部決算会計監査

(3) 米国自動車産業視察結団式
日　時：令和元年 9 月 17 日（火）11:00～13:00
場　所：名古屋マリオットアソシアホテル
実施事項：参加メンバー紹介、視察日程詳細説明
出席者：海外視察参加者　8 名

(4) 米国自動車産業視察
日　時：令和元年 9 月 29 日(日)～10 月 5 日(土)
訪問都市：サンアントニオ・サンフランシスコ
参加者：9 名（＋現地参加 1 名）

(5) 局長講演会
日　時：令和元年 10 月 31 日（木）17：00～19：30
場　所：名古屋観光ホテル
演　題：「中部地域の産業の展望と課題」～自動車産業を中心として～
講　師：中部経済産業局　局長　髙橋　淳　氏
出席者：26 名（26 社）

(6) 海外産業視察　報告会
日　時：令和元年 12 月 18 日（水）18：00～20：00
場　所：カンデーラ
出席者：6 名

(7) 支部懇談会（新春賀詞交歓会）・懇親会
日　時：令和 2 年 2 月 13 日（木）17：00～19：30
場　所：名古屋東急ホテル
懇談会出席者：来賓 3 名、会員 33 名
懇親会出席者：来賓 6 名、会員 33 名

(8) 正副支部長打合せ会【個別説明・書面審議】
日　時：令和 2 年 3 月
場　所：正副支部長会社各社

4．中小企業部会

（1）研修会派遣(中小企業大学校瀬戸校)

日　時：平成 31 年 4 月 17 日～19 日（水～金）

テーマ：「新任管理者研修」

参加者：1 名

（2）活動計画検討会

日　時：令和元年 6 月 14 日（金）15:30～17:00

場　所：名古屋栄ビル

テーマ：中小企業部会の令和元年度活動計画の検討と策定

出席者：9 名

（3）講演会

日　時：令和元年 7 月 23 日（火）15:00～17:00

場　所：名古屋栄ビル

演　題：「世界の電動車市場の見通しと欧州自動車メーカーの戦略」

講　師：㈱フォーイン　技術調査部　部長　東　尚史　氏

出席者：41 名（15 社）

（4）第 1 回　優良企業工場見学会

日　時：令和元年 8 月 30 日（金）14:00～16:00

場　所：武蔵精密工業㈱工機工場

参加者：20 名（13 社）

（5）研修会派遣(中小企業大学校瀬戸校)

日　時：令和元年 9 月 27 日（金）

テーマ：「会計情報活用講座」

参加者：1 名

（6）講演会

日　時：令和元年 10 月 16 日（水）14:00～15:30

場　所：名古屋栄ビル

演　題：「イノベーションを起こせる人づくり」

講　師：㈱連由　代表取締役　小山由朗　氏

出席者：20 名（9 社）

（7）研修会派遣（中小企業大学校瀬戸校）
日　時：令和元年 10 月 29 日～10 月 31 日（火～木）
テーマ：「コミュニケーション活性化講座」
参加者：1 名

（8）第 2 回　優良企業工場見学会
日　時：令和元年 11 月 15 日（金）14:00～15:30
場　所：㈱日特スパークテック東濃　二野本社工場
参加者：12 名（9 社）

（9）研修会派遣（中小企業大学校瀬戸校）
日　時：令和元年 12 月 3 日（火）
テーマ：「外国人材活用講座」
参加者：1 名

（10）講演会
日　時：令和 2 年 1 月 29 日（水）14:00～16:00
場　所：名古屋栄ビル
演　題：「米中貿易摩擦と日本経済」
講　師：㈱OKB 総研　主任研究員　纐纈光元 氏
出席者：13 名（10 社）

（11）第 3 回　優良企業工場見学会【延期】
日　時：令和 2 年 2 月 28 日（金）14:00～16:00
場　所：TOYO TIRE㈱　国内生産本部　桑名工場

5．環境部会
（1）活動計画検討会
日　時：令和元年 6 月 7 日（金）15:00～17:15
場　所：名古屋栄ビル
テーマ：環境部会の令和元年度活動計画の検討と策定
出席者：16 名

（2）第 1 回　優良施設見学会
日　時：令和元年 7 月 29 日（月）13:30～16:30
場　所：㈱JERA 西名古屋・川越火力発電所
参加者：14 名（11 社）

（3）講演会

日　時：令和元年 8 月 28 日（水）13:30～16:00

場　所：TKP ガーデンシティ栄駅前

演　題：「カードゲームで学ぶ SDGs」

講　師：興亜商事㈱　代表取締役　奥村雄介　氏

出席者：15 名（11 社）

（4）第 2 回　優良施設見学会

日　時：令和元年 9 月 13 日（金）15:00～16:30

場　所：アサヒビール㈱名古屋工場

参加者：8 名（6 社）環境部会委員対象

（5）事例選考会

日　時：令和元年 10 月 18 日（金）15：00～17：00

場　所：名古屋栄ビル

出席者：委員　13 名

（6）環境保全に関する講演会・事例発表会

日　時：令和元年 11 月 22 日（金）12：00～17：00

場　所：名古屋市工業研究所

内　容：講演「ｽﾏｰﾄ EMS の開発とﾊﾟﾅｿﾆｯｸの環境取組み」

講師：ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ㈱　主幹　山下英毅　氏

ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ環境ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ㈱　杉浦佳樹 氏

ﾊﾟﾅｿﾆｯｸﾌﾟﾛﾀﾞｸｼｮﾝｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ㈱　部長　大村貴志　氏

講演「社会動向と日本のエネルギー課題」～いま、求められること～

講師：NPO 法人国際環境経済研究所 理事 主席研究員 竹内純子 氏

事例発表会　代表 14 事例の発表

出席者：170 名（64 社）

（7）第 3 回　優良施設見学会

日　時：令和 2 年 2 月 14 日（金）13:30～16:00

場　所：リコー環境事業開発センター

参加者：14 名（10 社）

（8）講演会【延期】

日　時：令和 2 年 3 月 13 日（金）15:00～17:00

場　所：名古屋栄ビル

講　演①：「中国の廃プラ規制と日本を含む
東南アジアの廃プラ処理の現状と課題・対応」

講　師：ｴｺｼｽﾃﾑｼﾞｬﾊﾟﾝ株式会社 営業企画部 課長 上田 愛 氏

講　演②：「改正土壌対策法について」

講　師：DOWA エコシステム㈱　ジオテック事業部
名古屋営業所　所長 間瀬貴久 氏

6. その他

（1）第 81 回　JAPIA 中部ゴルフ会

日　時：令和元年 6 月 12 日（水）

場　所：桑名カントリー倶楽部

参加者：8 名

（2）第 82 回　ＪＡＰＩＡ中部ゴルフ会

日　時：令和元年 11 月 6 日（水）

場　所：多治見カントリー倶楽部

参加者：6 名

Ⅷ. 西日本支部

1. 年次会

日　時：令和元年 5 月 17 日(金) 13:00～14:45
場　所：ザ・ガーデンオリエンタル・大阪
議　案：①一般社団法人 日本自動車部品工業会 関西支部
平成 30 度事業報告 及び 収支決算(案)承認 の件
②一般社団法人 日本自動車部品工業会 西日本支部
令和元年度事業方針(案) 及び 収支予算(案)承認 の件
参加者：39 名（会員会社 79 社中、出席 21 社）※準会員を除く出席会社数
その他 併催行事：
①優良従業員表彰　②情報交換会　③講演会　④懇親会

2. 運営委員会

（1）第 1 回 運営委員会

日　時：令和元年 8 月 9 日(金) 13:00～14:50
場　所：広島モノリス
議　題：①令和元年度第 1 並びに第 2 四半期会員企業入退会状況の報告
②令和元年度第 1 並びに第 2 四半期事業実施状況の報告
③令和元年度西日本支部・海外視察について
参加者：21 名（会員会社 78 社中、出席 13 社※）※ 準会員を除く出席会社数
その他 併催行事：
①情報交換会　②講演会　③懇親会

（2）第 2 回 運営委員会

日　時：令和元年 12 月 12 日(木) 15:00～16:00
場　所：柊家
議　題：①令和元年度第 2 並びに第 3 四半期会員企業入退会状況の報告
②令和元年度第 2 並びに第 3 四半期事業実施状況の報告
③令和二年度西日本支部事業方針並びに来年度以降の支部組織について
④部工会 本部 説明（会費請求方法変更の件）
参加者：32 名（会員会社 78 社中、出席 20 社※）※ 準会員を除く出席会社数
その他 併催行事：
①西日本支部 理事・監事会議　②情報交換会
③講演会　④懇親会

（3）第 3 回 運営委員会（中止）

日　時：令和 2 年 3 月 11 日(水) (当初予定)
場　所：ANA クラウンプラザ岡山 (当初予定)

3. 正・副支部長会議

（1）第 1 回 正・副支部長会議

日　時：令和元年 5 月 17 日(金) 11:00～12:00
場　所：ザ・ガーデンオリエンタル・大阪
議　題：年次会 事前打合せ
参加者：4 名（他、事務局 1 名）

（2）第 2 回 正・副支部長会議

日　時：令和元年 8 月 9 日(金) 11:50～12:50
場　所：広島モノリス
議　題：①西日本支部の運営について
②運営委員会での議事進行について
参加者：3 名（他、事務局 1 名）

（3）第 3 回 正・副支部長会議

日　時：令和元年 12 月 12 日(木) 12:00～12:50
場　所：ホテルモントレ京都
議　題：①第 2 回運営委員会事前打ち合わせ
②来年度以降の支部体制について
参加者：4 名（他、事務局 1 名）

（4）第 4 回 正・副支部長会議（中止）

日　時：令和 2 年 3 月 11 日(水) (当初予定)
場　所：ANA クラウンプラザ岡山 (当初予定)

4. 分科会活動

（1）経営研修会

①講演会

日　時：令和元年 5 月 17 日(金) 15:15～17:00
場　所：ザ・ガーデンオリエンタル・大阪
テーマ:「社員との絆とものづくり､そして技術伝承～ものづくりに終わりはない～」
講　師：ダイヤ精機(株) 代表取締役 諏訪 貴子 氏
参加者：35 名
※令和元年度 年次会の併催行事として実施

②講演会

日　時：令和元年 8 月 9 日(金) 15:00～16:45
場　所：広島モノリス
テーマ：「楽しくなければ仕事じゃない！」
講　師：HILLTOP(株) 代表取締役副社長 山本 昌作 氏
参加者：24 名
※令和元年度 第 1 回運営委員会の併催行事として実施

③ミャンマー視察
日　時：令和元年 11 月 24 日(日)～29 日(金)
訪問先：JETRO ヤンゴン、投資企業管理局(DICA)、ティラワ経済特区(SEZ)、
バゴー工業団地、マンダレー工業園区
参加者：31 名（内、JAPIA 西日本支部 3 名）
※大阪商工会議所、JETRO 大阪本部 共催

④講演会
日　時：令和元年 12 月 12 日(木) 16:00～17:10
場　所：柊家
テーマ：「自動車産業における部品国産化ライフサイクル」
講　師：京都大学大学院経済学研究科・経済学部 教授 塩地 洋 氏
参加者：32 名
※ 令和元年度 第 2 回運営委員会の併催行事として実施
※ 総務分科会 共催

⑤講演会（令和 2 年 8 月 28 日へ延期）
日　時：令和 2 年 3 月 11 日(水) (当初予定)
場　所：ANA クラウンプラザ岡山 (当初予定)

(2) 総務分科会
①勉強会
日　時：令和元年 7 月 23 日(火) 14:00～16:00
場　所：ホテルモントレ京都
テーマ：「Honda の夢を世界の空に ～Honda におけるジェットエンジン開発～」
講　師：GE Honda エアロエンジンズ 社長 藁谷 篤邦 氏
参加者：18 名（中日本支部からの出席者含む）

②勉強会・懇談会
日　時：令和元年 9 月 11 日(水) 15:00～18:30
場　所：ウェスティンホテル大阪
テーマ：「創造力の見える化を体験し考える」
講　師：(株)ロボライズ 代表取締役 高木 剛 氏
参加者：15 名　※品質分科会 共催

③講演会
日　時：令和元年 12 月 12 日(木) 16:00～17:10
場　所：柊家
テーマ：「自動車産業における部品国産化ライフサイクル」
講　師：京都大学大学院経済学研究科・経済学部 教授 塩地 洋 氏
参加者：32 名

※ 令和元年度 第 2 回運営委員会の併催行事として実施
※ 経営研修会 共催

④講演会（中止）
日　時：令和 2 年 3 月（当初予定）
場　所：大阪（当初予定）

(3) 生産分科会
①委員会・工場見学会
日　時：令和元年 5 月 21 日(火) 11:40～16:40
場　所：(株)エクセディ精密 岡山工場
参加者：21 名

②異業種交流会・勉強会
日　時：令和元年 9 月 4 日(水) 9:50～16:30
場　所：ホテルアゴーラリージェンシー大阪堺
ダイキン工業(株) 堺製作所 臨海工場
テーマ：「丸五ゴム工業の KAIZEN 活動　IoT AI を活用した改善 etc」
講　師：丸五ゴム工業(株) 本社工場 次長 塩津 弘康 氏
参加者：25 名

③講演会・改善事例発表会
日　時：令和 2 年 2 月 21 日(金) 12:30～17:00
場　所：ホテル阪急レスパイア大阪
テーマ：「車のデザインの歴史と新規デザイン開発のプロセス」
講　師：ダイキョーニシカワ(株) R&D 本部 第三研究開発部
デザイン開発 Gr. アドバイザー 鈴木 英樹 氏
参加者：20 名

④工場見学会
日　時：令和元年 12 月 9 日(月) 12:15～16:20
場　所：新興工業(株) 本社工場
参加者：18 名

(4) 品質分科会
(次年度は、①6/24 見学会@広島地区 ②10/23 講演会@大阪 ③1/29 見学会@岡山地区にて開催。早期に詳細を詰め事前準備に入り、計画に従った事業の遂行に努める。)

①委員会・勉強会・工場見学会
日　時：令和元年 6 月 24 日(月) 11:45～16:20
場　所：丸五ゴム工業(株) 本社工場

テーマ：「インドでの経験談」
講　師：丸五ゴム工業(株) 防振事業部 防振技術部
防振設計課・新規事業開発担当 次長 井上 雅照 氏
参加者：17 名

②勉強会・懇談会
日　時：令和元年 9 月 11 日(水) 15:00～18:30
場　所：ウェスティンホテル大阪
テーマ：「創造力の見える化を体験し考える」
講　師：(株)ロボライズ 代表取締役 高木 剛 氏
参加者：15 名
※総務分科会 共催

③工場見学会
日　時：令和 2 年 2 月 10 日(月) 11:50～15:10
場　所：ナカシマプロペラ(株) 玉島工場
参加者：14 名

(5) 技術分科会
①勉強会
日　時：令和元年 7 月 16 日(火) 12:00～15:00
場　所：ホテルモントレ京都
テーマ：「自動車を取り巻く環境変化
～エネルギーと都市と自動車の関係を中心に～」
講　師：(株)本田技術研究所 デジタルソリューションセンター
シニアエキスパート 前田 義男 氏
参加者：15 名

②勉強会・懇談会
日　時：令和元年 11 月 11 日(月) 15:00～19:00
場　所：ホテルモントレ ラ・スール大阪
テーマ：「地方と都市・自動化と MaaS　～2050 年の物流と公共交通～」
「安全・効率化・省人化の課題　解決に向けた商用車技術」
講　師：日野自動車(株) 技監 小川 博 氏
参加者：17 名

③講演会（令和 2 年 7 月 1 日 又は 2 日へ延期）
日　時：令和 2 年 3 月 17 日(火) (当初予定)
場　所：ホテルモントレ京都 (当初予定)

(6) 補修部品分科会
①見学会
日　時：令和元年 7 月 10 日(水) 14:00～16:00

場　所：(株)木村鋳造所 先端プロセス技術センター
参加者：14 名（東日本支部・中日本支部からの出席者含む）
※本部 中小企業施策委員会 共催

②委員会・講演会・懇親会
日　時：令和元年 7 月 30 日(火) 14:00～18:30
場　所：八芳園
テーマ：「CASE が与える補修部品用品市場の影響と変化」
講　師：自動車ジャーナリスト 桃田 健史 氏
参加者：27 名（東日本支部からの出席者含む）
※本部 補修部品用品委員会 共催

③異業種見学会・懇親会
日　時：令和元年 10 月 11 日(金) 13:20～18:45
場　所：須河車体(株) / 八百忠別館
参加者：18 名（東日本支部からの出席者含む）
※本部 補修部品用品委員会 共催

④忘年会
日　時：令和元年 12 月 17 日(火) 17:30～20:20
場　所：カツヤ チャコール グリルステーキハウス
参加者：8 名

⑤補修部品分科会・補修部品用品委員会 幹事会
日　時：令和元年 12 月 18 日(水) 16:00～17:30
場　所：ホテルメルパルク大阪
参加者：8 名（東日本支部からの出席者含む）
※本部 補修部品用品委員会 共催

⑥異業種見学会（延期）
日　時：令和 2 年 3 月 11 日(水) 並びに 12 日(木) (当初予定)
場　所：MonotaRo (当初予定)

⑦工場見学会（延期）
日　時：令和 2 年 3 月 17 日(火) (当初予定)
場　所：トヨタ自動車東日本 (当初予定)

(7) その他
①情報交換会
日　時：令和元年 5 月 17 日(金) 13:30～13:50
場　所：ザ・ガーデンオリエンタル・大阪
ご説明：経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐 高橋 一幸 氏
参加者：34 名

※ 令和元年度 年次会の併催行事として実施

②JAPIA 西日本支部関係者 OB 会
日　時：令和元年 7 月 12 日(金) 11:30～15:00
場　所：料理旅館 指月亭
参加者：12 名

③情報交換会
日　時：令和元年 8 月 9 日(金) 13:30～13:50
場　所：広島モノリス
ご説明：経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐 木下 智之 氏
参加者：21 名
※ 令和元年度 第 1 回運営委員会の併催行事として実施

④志摩観光ホテルでの懇親会と伊勢神宮参拝
日　時：令和元年 11 月 15 日(金)～16 日(土)
場　所：志摩観光ホテル / 伊勢神宮
参加者：6 名

⑤西日本支部 理事・監事会議
日　時：令和元年 12 月 12 日(木) 13:00～14:25
場　所：ホテルモントレ京都
議　題：次年度以降の西日本支部役員人事の件
参加者：9 名
※ 令和元年度 第 2 回運営委員会の併催行事として実施

⑥情報交換会
日　時：令和元年 12 月 12 日(木) 15:05～15:20
場　所：柊家
ご説明：経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐 木下 智之 氏
参加者：32 名
※ 令和元年度 第 2 回運営委員会の併催行事として実施

⑦京町家の再生(リノベーション)とモダニズム見学会＆懇親会
日　時：令和元年 12 月 12 日(木) 12:30～19:30
場　所：歌詠鳥・萌文庵 / 柊家
参加者：12 名
※ 令和元年度 第 2 回運営委員会の併催行事として実施

⑧令和 2 年度十団体共催新年賀詞交歓会
日　時：令和 2 年 1 月 8 日(水)
場　所：ホテル阪神
参加者：21 名（部工会 西日本支部会員企業からの参加者）